男女貞潔之理想　公娼廢止之主張

會長島田三郎　副會長安部磯雄

5—213

大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正八年七月十日印刷）（大正八年七月十日發行）
（毎月一回十日發行）

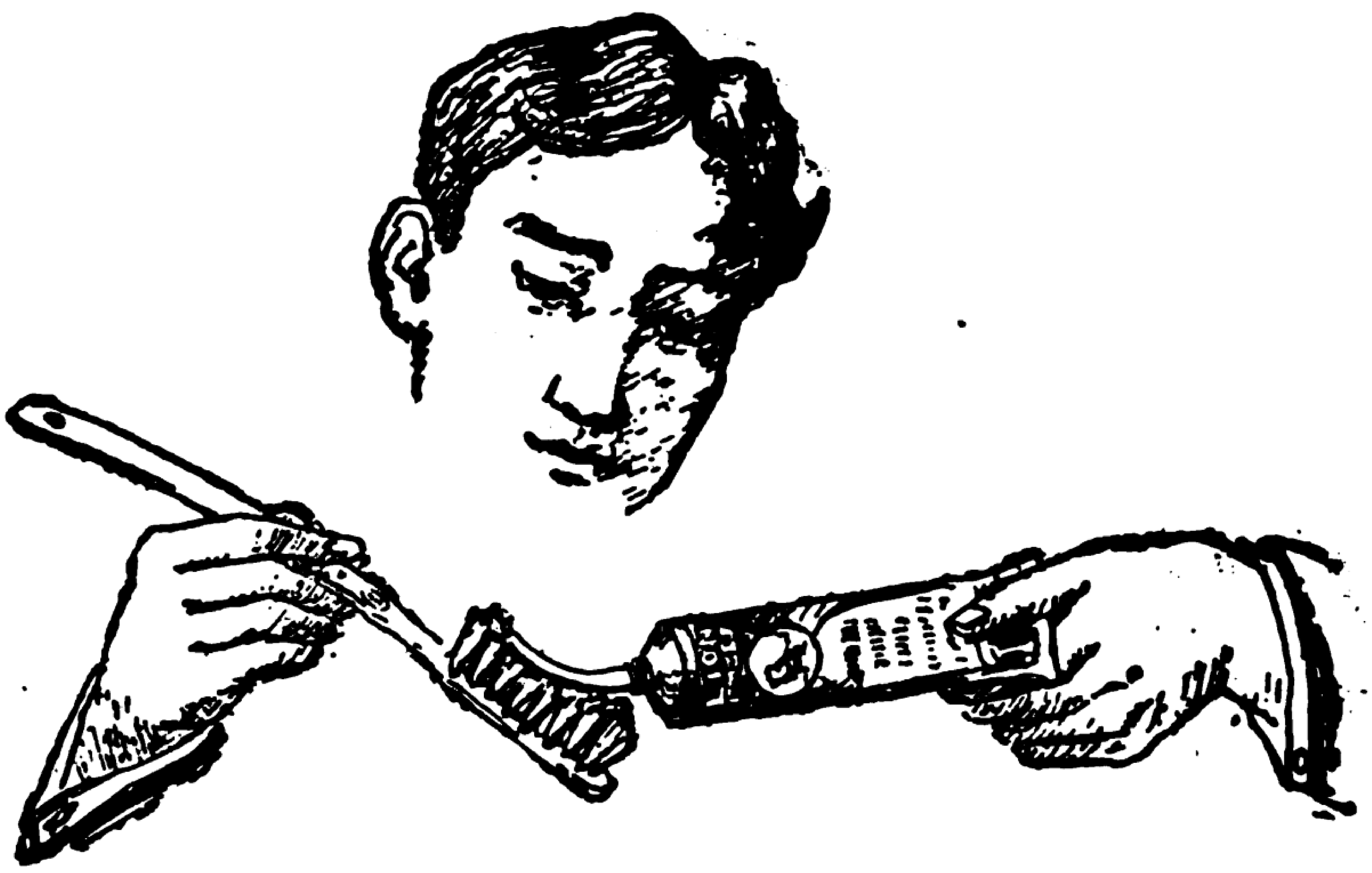
廓清

第九卷　第六・七號

□廓清時言……伊藤江南
□朝鮮騷擾問題を論ず……廓清會長 島田三郎
□世界的禁酒運動……早大教授 安部磯雄
□不良少年問題……文學博士 富士川游
□不良少年に就て……東洋大學教授 高島平三郎
□獨身婦人論……文學博士 三宅雄二郎
□都市住宅問題……市統計課長 田中太郎
□結婚と離婚……法學博士 穗積重遠
□福澤翁の一夫一婦論評……一條忠衞
□社會改造の根本義……救世軍大佐 山室軍平
□社會改造の基礎觀念……慶大文科科長 川合貞一
□娼妓病院手記（四）……看護婦 田口和子
□編輯局から……隆之助

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY



ライオン煉歯磨

チューブ入

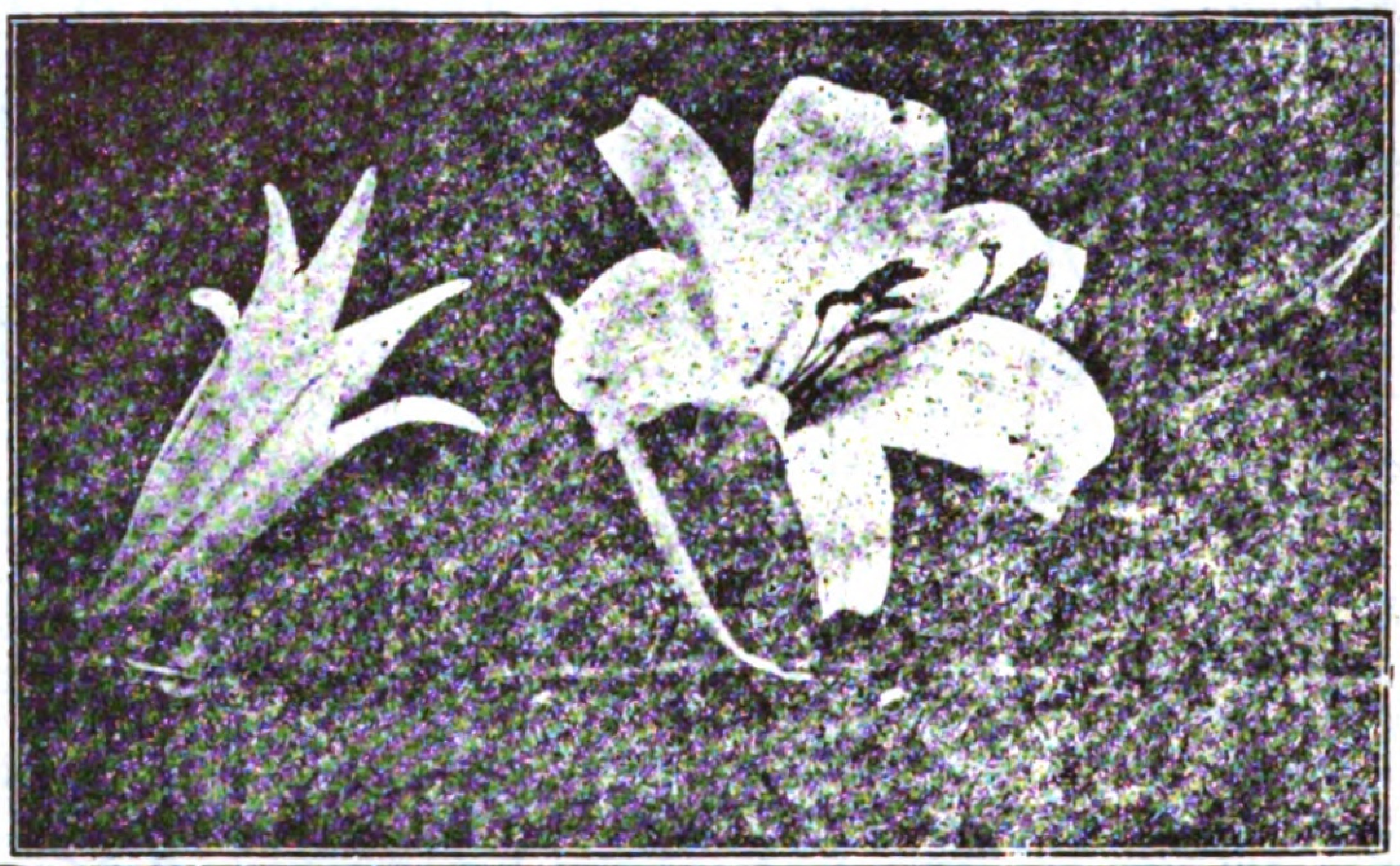
(押出管入)

これをお使ひになるには、まづ頭部の口金を取り置き、左手の拇指をもつて容器の底部をつまみ、すこし力を入れて壓せば、やはらかな美しい煉歯磨がリボン狀に出てまゐります。それを右手に持つた「萬歳」歯刷子の上に受けて、ほどよいところで止めまして、歯の表や裏や咀嚼面を丁寧にお磨きになれば、歯も口中も全く清淨になりまして、まことに何とも申しやうもない清々しい、さわやかな御氣分になります。

本品が旅行用に適するのは申すまでも御座いませんが、御家庭用としても、御使用の度毎に、要るだけの分量を押出して使ふのですから すこしも中味を汚すといふことが御座いません。また多人數の御方が御一緒に御使ひになりますにも、極めて清潔に保ちますから、誠に便利で御座います。

●歯磨を押出したあとの平たくなつた部分は、捲きあけて置きますと、その次お使ひになる時に、壓しても、中味が後へ戻るといふ事がありません。

廓　　　清
THE PURITY
大正八年七月
第九卷第六、七號



廓清時言

男性淘汰より女性淘汰へ

米國の有名なる社會學者ウォード氏は、其の純正社會學の一篇に於て女性中心說なるものを唱道したり、一言にして之を云へば脊椎動物は一見男性中心の如くなるも、廣く生物學を觀察する時は全く之に反す。無性生殖たる單細胞生殖は暫く措き、複細胞生物たる植物界を見るに、女性中心の事實は最も顯著とす。昆蟲類にありても、女性は常に强大にして男性は必ず弱小、寧ろ女性の附屬物として單に女性が生殖の具たるの觀あるを詳說し、更に高等動物に及んで假に男性優强の事實に對し、之を男性中心と觀ずるを皮相となし、之れ女性が男性の强大を愛し、羽毛の美麗を求めたるが爲めに、男性は女性淘汰を享けて彼の如き發達を見たるものにして、其中心勢力は依然として女性の掌中にあり、其證は、强大なる男性は女性の愛を得んが爲めに同性間の競爭若くば外敵の防禦に其體力を使用すれども、其强大を利用して女性を壓服せしむるが爲めには斷じて使用されず、異性選擇の權は依然女性にあるの事實は最も考慮すべき點とす。

人類の社會に入りても、母權的家長制度の間は元より女性中心の社會なりしも、人類には特有の理性なるものあり、女性の男性淘汰は單に體力の强大を求むるに止まらず、智力の優秀をも求めたるが爲めに、理性の發達は男性に於て著しくなり、男子は自己の子女に對する認知によりて母權的家長制度より父權的家長制度に推移し、遂に男性は其强大なる體力を利用し、優秀なる智力によりて女性を壓服せしむるに至り、配偶選擇の權は男子の手に落ち、全く男性中心の社會となりて、男子は自已の趣味に從つて反對に女性を淘汰する男性淘汰の時代と變じたり。即ち男性は女性の體

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

格の强大を好まざりしが爲めに女性の纖弱美を發達せしめ、男性は女性の智能勇氣を必要とせざりしが爲めに女性は從順犧牲等の德目を發達せしめ、男性は女性の純潔を要望したるが爲めに、女性の貞操は發達したるなりといふ。

ウォード氏所說の内容は、吾人の首肯する能はざるものを尠からず含めども、大體に於て男性中心說に對する有力なる一敵國たるは明けし、若し氏の所說を眞理なりとすれば、世界改造の論ぜらるゝ今日は、生物本來の女性中心に還るこそ新文明の根本基調たらむ。吾人の玆に特說するの要は、人世の幸福が家庭の圓滿にあり、家庭の圓滿が夫婦の相愛により夫婦の相愛が貞潔を條件とする以上、少くとも今日の女子が結婚に對する態度を改むるの必要を叫はざる能はず、女子が結束して苟も賣娼婦に戯むるゝが如き男子を排斥し、之と婚姻を拒否するの一事だけにても實行するを得ば、男性淘汰は再轉して女性淘汰となり、男子の貞操は發達し、女子の幸福は堤の決したる如く、滔々として此處より流れ來らむ。

唯物的人生觀の悲劇

最近耳目を聳動し心膽を寒からしめたるは、二名の農學士が行ひたる殘忍なる殺人事件也。爲に現代教育に疑を挿むの聲を聞くは元より其處也。殊に主犯者山田の母は元娼妓にして、共犯者渡邊は女郎屋の子なるは一考に値する事實とす。

世人はまた凶漢の妻山田つぎ子なる者の不幸を評し、輕卒なる結婚の賜となし、或は先夫の死後幾何もなく再婚したるを不德とし、現代の結婚問題の好資料となしつゝあるが、更に一歩を進めて彼女の結婚生活を論評し、其虛榮的生活を嘲り、凶行當夜寄席などに遊べるを哂ひ、且つ彼女は夫の俸給が月百圓内外なるにも不拘、三百圓の生活をなしつゝあるを奇怪とせざりしは、全く彼女の罪にして妻としての資格を缺くと、諸名士の論結せるを諸紙に散見す。

されど惟ふに、百圓の俸給者に三百圓の收入ありといふことは、彼女に取りて決して奇怪なる事と思惟されざりしならん。何となれば俸給以外の收入あることは、恐らくは彼女に取りて手腕ある夫と解せられ、信賴するに足る男子なりと考へられたるに非る乎。俸給だけを持歸るは馬鹿正直の事にして、俸給以外要領を得ざる收入あるを原則とするが現社會に非ざる乎。觀じ來れば夫の慘行も爲に受くる妻の不幸も、等しく之れ唯物的人生觀の產む處なるなかんや。

淺草の私娼また默認乎

曩に丸山保安部長の異常なる努力によりて、淺草の大魔窟を殆んど掃蕩したる觀ありしが、元より飯上の蒼蠅にも似たる賣笑婦は、從つて去れば從つて來り、遂に取締に難じ奔命に勞れて又復一劃を限り默認の態度を執るの方針なるが如し。

吾人は丸山氏の熱心なる改革に際しても、一面に公娼を獎勵するの矛盾を敢てする以上、私娼撲滅の結局徒勞に歸すべきを痛惜したりしが、果然取締に倦みて再び舊日の醜態に還らんとす。玆に於て吾人の熱心に與り聞かんと欲するは、私娼を默認する以上、公娼存置の意義如何にあり。私娼の跋扈を抑制せんと稱する公娼制度よ、今將た何の顏かある。（江南）

朝鮮騷擾問題を論ず

廓清會長　島田三郎

□八道に於ける鬱屈の氣運

朝鮮の近時は、本土の日本に於て問題となるが如くならざるが如く、甚だ曖昧の姿であることは奇怪至極であり又實に容易ならざる重要事件である。事は本年の三月一日に起り、一波動いて萬波揚り、忽ち八道を騷擾の渦中に投じた。當時其の事實は内地の新聞に見えて全國の人々を驚かしたが、幾何もなく鎭靜に歸して今や新聞紙上全く其影を匿した。全半島を風動したる騷擾が斯く音も絶え聲も聞えずなつたのは、果して一時的颶風であつて、今は雲霽れ月輝くの狀態であらうか、然りとすれば何等憂慮の要なけれど、我等の眼になほ反射する形勢は、此騷動を醸したる原因の依然として存するのみならず、一層其禍原を深からしめた感がある。即ち陽性として現はれたる病源が陰性に變じたのである。此吾人の斷定は、果して不當の觀察なりや否や。

凡そ事の起るは、起るの日に起るに非ずして由つて來るの處あり、日韓併合以來茲に十餘年、時代錯誤の政治が半島に行はれて一千五六百萬の韓人を絶望せしめ、彼等の前途に微光だも認めざる境遇に立たしめた。如何に永く專制の下に壓せられて自由の眞味を知らざる韓人と雖も、世界の氣運は長く半島にのみ入込まぬことを得ないから、時代錯誤の總督政府の下に不滿不平の氣は恰も梅雨の候に黴菌の成長する如く、社會の各方面に瀰漫したのである。

如何にして此陰鬱不快なる境遇を脫出することを得んかとは、智愚賢不肖の別なく貧富貴賤の如何に拘らず、彼等の胸中に鬱屈せる一念であつた。特に半島を出て、或は帝國の本土に來り、或は支那の都會、乃至布哇、カリフォルニア等に赴きて社會的に新空氣を呼吸し、教育的に新界想を養つて、前途に自己發展の希望を懷いてその道を追求し來れる少年青年は、自己の爲めに悲み同胞の爲めに憂ひて、如何なる機會に於てか此境遇を蟬脫せんと冀つて止まなかつた。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

□雲霧に包まれたる政治

偶々佛國巴里の講和會議に於て、民族自決の問題が討議せらるゝに至り、茲に一點の微光ありと考へたか、假し其冀望成らざるも、是を世界の問題として新局面を打開せんと企て内部の同志と相呼應して卒然此運動を起すに至つたが、彼等自身にも意外と思ふ程の全島を震撼する暴動となつた。以て如何に不滿不平の氣が普く且久く醞釀せられつゝありしかを看取せざるを得ない。

總督府の人々は、官職高ければ高き程下情に通せざる宿弊に醉へるが故に、其眞相と其原因とを知る能はず、其不明は更に責任を他に轉稼して自己の不明を遁れんとするの横着心と相結び、種々の修飾多き報道を傳ふるに至つた。曰く此騒動は韓人多數の自働的行動にあらず、全く他動的惑亂である。曰く天道教の煽動、曰く外國宣教師の教唆、曰く露國過激思想の浸入と。一切の責を他に負はせ、自巳の責任を感せざるが故に過を改むるの誠意がない。のみならず本件の鎭靜せざる以前より、報道の他に洩れざらんやう半島を封鎖して一衣帶水の本土に何の沙汰も聞えざらしめた。如斯にして我等も亦其前後の事情を詳にするを得ず、爾後續出する事件の眞相を看ることが出來なくなつた。

然るに奇なる哉、事件の詳細なる報告と驚く可き續出の變故が我内地に發行する外字新聞に見え。又近日に至つては外國より來る新聞に陸續散見する。就中最も吾人を驚かしめたのは我が帝都に出版する英字新聞ジャパン、アドバタイザーに出た、四月廿七日より廿九日に至る連續せる報告である。それは事の餘りに奇怪なるが爲め始め信ずることを得なかつた程であつたが、又信せざるを得ざる程事實の鮮明なる記載振りてある。時は四月十七日、京城を去る二十里ばかりの水原といふ處に起つた事件は卽ちそれてある。

□何等の暴戾何等の慘劇ぞ

其後他より得たる報道とアドバタイザーの通信とを合せて見るに、一隊の憲兵と兵隊とは水原の韓人部落に至り、申聞けることあるゆえ教會堂に集まれと觸れて廻つた。そこで集まる者二十二人であつたが、憲兵と兵隊とは某尉官の指揮の下に會堂の戶を閉ぢ、中に鐵砲を打込み火を放つて燒拂つたといふ。二人の女が其夫や父の危險を心配して驅け込み來つたが、或は銃丸に打たれ或は劍戟に刺されて殺された。遁れたる者は唯一人あつた。それは說教臺の下に匿れて難を遁れ背後の戶より飛出して裏の林叢の中に入つて助かつたといふ。此報が在京城の外人の下に逹したから、彼等は其眞否を確かめんが爲めに英米領事と共に急行して見ると、まだ餘燼尚燃へつゝあつて異臭鼻を打ち死骸は所々に橫つて居つたから、是を寫眞に撮つた。其近傍の韓人は外人が近いて何か尋ねやうとしても近かない。若し外人と話して何か報告したといふ嫌疑を受ければ、外人が去た後に憲兵軍隊に如何なる危險を與へられしか分らぬから恟々として喪心せる姿であつた。此外人の一行は京城に歸り長谷川總督に會見し其事實を話した處、總督も之を認めて相當の責任を料して、再び斯かる亂

暴の起らぬやうにするといふたと記載してある。此文の略せる譯文は其後時事新報に出て居た。

此の記載によれば此のことは奇怪のことであつて、有るまじきことであると思はるゝも、總督は其れを否認せぬと明記してある。此他各所に火災ありて會堂住家の燒かれたるもの少からずと聞く。何等の暴戾何等の慘劇ぞ。

□憫れむべき朝鮮人の運命

之を要するに韓人は、現在に於て其文明の程度は低い。乍併原來未開の蠻人ではない。又民族として昏愚なるものでもない。往時を顧れば早く文明の化に浴し、學問も文藝も技術工藝も發達した歷史を有つてゐる。が、同時に極めて不幸なる民族であつた。日支兩大國の間に挾まれた半島の小國であるから、支那や滿州に事があれば常に其影響を受けて强きものには凌轢せられ支那に新政府が起れば其先鋒となつて日本と爭ふ時の手傳を勸めさせられる。日本の勢力が張れば日本の襲擊を受けて是に苦しむ斯く外部から此の不幸を被むるのみでない、內部に於ては長き專制の政府の下に惡政の犧牲となつた。之が爲めに所謂繼子育ちの不幸なる民族となつて今日となつた。明治天皇陛下の併合の詔に隨喜して日本の版圖に入つたが、爾後の政治は依然彼等に甘露を與へずして苦酒を飮ませて今日に至つた。

一言するに併合以來彼等は人格を認められざる人民として、精神の自由は全部剝奪せられ、劣等なる異人種として、日本の臣民たる德化を被らざるものであつた。是が彼等の絕望の原因である。如何に弱くとも絕望すれば猫も虎となる。纖弱なる婦人が絕望すれば刄を執つて勇士にも刄向ふは、人性必然の發動である如く、朝鮮には鮮人を保護する官吏はない。鮮人を驅使する鞭撻者がある。同化の名の下に民族の言語の自由を束縛した。自己の不便を公衙に訴へる言論文章の自由がない。警察と憲兵は奴僕に對する主人公である。韓人は一個の大なる兵營に住まへるが如く、下より上に訴ふる道は針よりも狹い。上級の軍人は下級の軍人に號令を下して其の當不當を議するの自由を與へざると同樣の支配を受けたされど我等は斯かる官吏を咎めるのみではない。半島に於て多數の日本人は韓人を同一の帝國の臣民と觀せずして、被征服者の如く、劣等の民族の如く、本土の威力を背後に負ふて韓人に極度の差別待遇を加へたのである。

□暴政惡令の實例一二

なほ吾人は、下情の上達せず不平の洩らし處なき實例を一二擧示せんに、これ迄朝鮮を視察した人は道路の開け、田園の耕され、山林の茂れるを見て物質的の進步を喜んだか、道路を開かんとするには、大抵官吏が韓人に向つて公益の爲めに土地を獻上せよといふ諭告をする。名は諭告であるが違背することを得ぬから事實は命令である。斯くして直に道路を開き私有地は變じて公道となる。私有地を獻じて殊勝なりといふので木杯を賜はる。大地主が一部分の地を取られたのはまだ忍ぶべしとするも小地主は爲めに全く傳來の土地を失つて無一物となるものが續出する。舊時の朝鮮は普天の下王土

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

にあらざるなく率土の濱王臣にあらざるなしとの古き格言によつて、凡ては李氏の王朝の所有てあつたと解せられる。併し其内には王朝直接の所有地があつた。韓人が數代引續いて之を耕作し、地代は之を王家に納めた。名儀は王土の借地人てあるが地代は極めて低くして事實は地上權所有者てある。併し名儀が借地人てあつたから李王家に對して併合の時に一種の公債を與へられ、其土地は日本の公有となつたから其地代が著しく上つた。或は取上げられて他に拂下げられた。之等の韓人は悉く浮浪の徒となり、窮餓に苦しんて境を越えて滿州に遁れた者が澤山ある。此沒收地の幾部分は東洋拓植の有となつたものもある。と聞いた。我等は信じ難き程に思ふが信ずべき人の談る處によれば、刑事には過去の刑罰か存して尚鞭笞があるといふ。拷問も行はれるといふ。獄内の制度は殆んど維新以前の牢獄の如く、多數の人を容れて空氣の流通人類の耐へ難きものもあるといふ。道長が旅行する時は道路に砂を盛り昔の封建時代の領主の巡視の如くてあるといふ、警察憲兵は在郷に行けば昔の武士の人民に臨むが如く何事も爲すを得ないことはない程の權力を振ふと聞く。官吏は恐るべきものにして親しむべき者てないとの觀念を與へて居る。而もそは韓人と官吏との間のみてなく、下級の官吏は上級の官吏に畏服して下情の通ぜざるは驚くべき程てあつて、文官と武官との間の協調がない。のみならず文官の命令は武官の手に屬する憲兵や警察の手によつて半途に消滅するといふ文官の苦情も聞えてゐる。

教育も韓人は平等の利益を受けない。有爲の青年が他國に留學するは至極面倒て、容易に其自由を得ぬ。要するに高き教育を受けて現代の思想を受入るゝは政治の妨といふ政治方針の如く解せらるゝ。幸に他國て高き教育を受ければ歸國して其不自由に堪えられぬ不快の境遇となる。其不快を除かんとすれば直に異心を懷かんとするが如き偵察の目的となる。殊に所謂統一の思想を主義とする政治は其人民の信念を統治者の信念と同からしめんと强制する。此の思想が總ての法制規則にも實現する。若し之れに違へば迫害せらるゝ危險がある。韓人も當時は頭髮を切つて斬髮にならうとするが、其理髮所が少い。それは清潔法が所謂齊一のものてあるから極めて嚴重て、相當の機械や設備がなければ許可せぬから理髮所を作れないのてある。又在村へ行けば旅館といふも名のみて、本土の木賃宿にも及ばないが、旅客の姓名を何時迄に警察へ屆け出てよとの命令になつて居り、韓人は姓名を記し難い程の者が多いから實地に行はれぬ。之が爲めに頻に警察規則違反の所罰を受ける。家屋清潔法を行ふにも朝鮮の生活には取捨を要するが、一切の取捨がないから幾度繰返しても不合格として叱責される。申譯をすれば命令違反となる。これ等は些細のことの如くてあるが實地の困難は多大て、訴ふるに道なく不平苦情が溜りに溜つてゐるが、日本人に告げることは出來ないから外人に告げる。外人が申譯の仕方を敎ふれば外人が入智慧をするといふので、是から外人使嗾の嫌疑が起り一轉して外人煽動の問題ともなる。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

□軍人政治の廢止と言論の自由

或人は評して曰ふ、『總督府は善意の惡政を行ふのだ』と、斷じて虐政を行ふとの意思はないが新時代の思想を有せぬ人の政治は斯の如きもので、時代錯誤の結果である。一言すれば人を人として扱はぬ、精神の開發に觸れぬ政治であり、自由の貴重なることを知らぬ政治であり、何事も命令で行はれると信ずる政治であり、下言を聞くだけの雅量なき兵營の政治である。是が役人の方面の弊害の本源である。他に向つては人類平等を求むるの要求をなすが、自ら顧みて自己が他人を輕侮するの日本民族の缺點が歷然として半島の上に現はれて居るのは日本人の缺點である。豈官吏のみならんや、商工業者とのみ云はんや、我民族の最大短所と云はなくてはならぬ是れも長き間擅制政治封建階級の社會に成長したる日本民族の短所と觀るべきである。

今日韓人が同じ日本帝國の本土に來るには、警察の免許證がなければならぬ。其免許證を見ると恰も我國人がカリフォルニヤ邊に行く時に外務省から交附せらるゝ旅行劵と同樣である。本人の寫眞迄もついてゐる。此の一事を見るも如何に彼の半島が深き雲霧に閉されて別世界にあるかが分るのである。此療法は他なし、先以て時代錯誤の泉源たる軍人政治を廢めると同時に、下情を知り、人心の鬱屈を散ずべき噴火孔なる言論出版の自由を許すとである。言論出版も皆當を得ると我等は過信するものではないが、之がなければ社會は腐敗する。下情が上達せぬ、役人は我儘となる。嘗て朝鮮人に會談して、何にしても朝鮮の半島に自由の新聞のなきこと、言論の自由なきことは、同じ日本の人に半島の出來事が分らぬので困ると云ふたら、彼は冷然として嘲笑し又慨然として歎息し半島にのみ出版の自由がないならばまだしもだが、今日朝鮮のことに就ては本土の日本に於ても出版の自由がないと思はれる。若し是れあらば疾くに日本の良心ある國民の顧る處となりしならん、其物議もなく評論もなきは日本帝國になほ出版の自由なきが爲めであるといふたのは、我等も默して同意せざるを得なかつた處である。然るに之を反對に外字新聞に續々掲載されて、日本に知れないと安心して居る內に、海外の人は何故に日本の中に評論が起らぬのか、日本人は斯の如き問題に無感覺であるのかとの結論に到着せば、其影響の不利言ふを待たないてはない乎。

□帝國果して何の辯解の辭かある

四月二十八日のジャパン、アドバタイザーに長論文の寄書があつた。其評論は極めて堂々たる大文章と評してよい、題して『半島に於ける日本の道德的失敗』といふのである。朝鮮の會堂を燒き無辜の人民を虐殺したのは誰の責任であるか、此事に關して餘りに驚く可き報道であるから定めて是を否認するの文が出るか、或はそれに對する辨明が出る筈であると。遂に一ヶ月待つて居たが之を誤聞として否認することもなく、是には斯の如き理由があるとの辯明もない。兵士が殖民地で亂暴することは他國にもある。米國の兵がフイリッピンで土人を虐待したこともあつた。併し此時は米の本國で

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

痛切に之を評論し非難して其責任ある者を嚴重に處分した。英國では印度に虐政を施し印度人を苦しめたことがあつた。併し英の本國では此責任ある人物を嚴責した有名の彈劾事件もあつた。日本が軍隊の亂暴に對して沈默して居るのは、日本人は斯の如きことを奇怪視せぬ國民であるかとの批評に甘んずる者であるか、といふ如き口調を以て論じてあるのは、亦之れ免れ難き論者の申條であると思ふ。聞くが如くんば併合以來十餘年の間、朝鮮の本土に安んずるを得ずして國外に遁れ去りたる者百萬人に上るといふ。これ等は恰も愛蘭人が其本島を去つて多く米國に入り、或は他の地方に移住して故國と聲息を通じし其同胞の疾苦を救はんとして、種々の難問題に英國政府を苦しめ、殖民地の支配に巧妙なる手腕を有すと稱せらるゝ英人にして、愛蘭の件に就て懊惱苦慮して尚其の適當なる方法を得ざる如き境遇に立ちつゝあるは、過去失政の結果でなくてはならぬ。朝鮮に對する日本政府は此際改善の方針を確立して、半島永遠の安全繁榮を圖らねばならぬ時期は實に今日である。

□□ 娼妓の放火犯 □□

◇ところは難波の病院で、親も知らない……」の悲慘な境遇を謳はした難波病院は、公娼密淫賣を強制的に公費で收容治療する特殊病院である。其處に收容されてゐた五人の病娼はその賄が獄裡のそれよりも粗惡なのを憤つて、女心の淺墓にも放火の大罪を敢てしたといふことを、新聞で知つた吾輩は、彼等の待遇費を論議する者の一人として、その責任を痛切に自覺した。

◇食料粗惡を放火の原因とすれば、豫算を論議した府當局並に吾々府會議員は、その犯罪の遠因を構成したもので社會上より觀じ來れば實に憫てある、下手人たる五人の公娼に、犯罪を暗示的に誘導したものであると言ひ得る。

◇彼等公娼は上村君（府衞生課長兼難波病院長）の著「賣られ行く女」にある如く、悲慘階級に生れた女性である。そして國家社會の保健、風紀、人道等を維持するがために政策に投ぜられた犧牲者である。斯かる犧牲者が、國家社會から凡る侮辱と嘲弄と冷遇と虐待とを受け、しかも一旦不幸にして犧牲に罹るや獄裡に劣る食物に甘んぜればならぬといふことは、人道上果してどんなものであらうか。

◇彼等の年輩は、多く食慾旺盛の頃であつて、然もその疾病は直接食慾を減退せしむるものではない。一日十八錢の食費は胃臟をどれだけ滿足せしめ熱量をどれだけ攝取し得るだらうか。どん底生活の一人の料食實費は、五十錢が最低熱量であるといふてはないか。

◇大阪府は、この悲慘なる犧牲者から、娼妓賦金として一箇年十七八萬圓を絞つてゐる。而して彼等の治療費は七八萬圓を出てないから殘額十萬圓餘は純利的收入である一圓十八錢の冷遇と一年十萬圓餘の收入とを較べ見る時に、吾輩はその政策の失當を思ひ浮べるのである。

◇貞操を資本とする公娼が、社會から冷遇さるるのは止むを得ぬこととしても、せめては行政手段を以て内密的に其境遇に同情して、品性の向上、生活の慰安に意を注ぎ、その犧牲的地位を自覺せしむる樣に取計らふ事は、當局の責任にして又行政運用の妙てはあるまいか。知事の方面委員制は吾人之を賛す、さり乍ら燈臺の下暗きの譏を忘れてはならない。（大阪府會議員ＴＭ生）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

世界的禁酒運動

早大教授 安部磯雄

□禁酒は勞働者の幸福を奪ふ乎

五六ケ月前に米國の方から世界各國に、禁酒運動の爲めに代表者を出して大に禁酒運動を遣らうと云ふ話であつた。所が愈々日本にも其の代表員の一人が來て、先日或る所で日本の主なる人々を集めてさうして日本でも愈々禁酒運動を遣ると云ふ事に就て意見を訊ねた。其の時に澁澤さんは、日本には酒に就ては特殊の習慣もあるから、禁酒をするには種々困難な事情があるだらうとの話しであつた。其の時阪谷さんは宜い事であるならばドシ／＼遣つた方が宜いてはないかと斯う云ふ事が新聞にも見えた。

誰でも禁酒問題に就ては考へねばならぬ時代に到着したと云つても宜いと思ふ。大概の人は禁酒と云ふ事は困るだらうと思ふが、然し斯う云ふ事を奮發して遣れば、決して難しい事てはない。現に戰爭中に露西亞も大奮發をして禁酒を斷行した位であるから、一個人よりも一國が大決心を以て遣れば難しい事てはないと思ふ。私は思に平生一度に禁酒をする事は難しいかも知れないから、段々と若い者の時から禁酒を始めたら宜からう。一口で云へば漸進主義を取るのが宜いといふ說である、併し乍ら若し日本國が法律を以て日本全體に禁酒を行ふと云ふ事なれば無論結構な事であるから、さう出來るなら是非遣りたいと思ふ。隨分今日は何れの國でも戰爭に關係したので財政には困る立場になつて居る、戰爭が終熄しても緊張したまゝの態度で戰爭中と同じ考を有つて行くなれば、日本でも酒を止める事などは困難ではない。他の國は皆殆んど戰爭をして居つて、禁酒を遣らうとして居る其の氣分であるから日本でも禁酒は出來ない事はないと思ふ。であるから私は日本の精神的方面に、禁酒によつて一つ心の修養を遣つて見る事を非常に宜い事と思ふ。所が之には反對論あつて若し酒を止めるとすると、今迄酒を唯一の樂とした勞働者に對しては可愛相ではないかと、成程ちよつと之は有力な議論である、外に樂もないから勞働者は働いて後で酒を飮むのは無上の快樂に相違ない。だから、此の酒を取り去つて了ふのは彼等の快樂を奪ふのであつて殘酷なことであるといふ。如何にも酒を止める事は一時彼等から快樂を取り去る事てあらうが、乍併結局は其の人が他の快樂を得る爲めに必要な金を殘すのであるから、もつと高尚な快樂を得る事が出來るのである。一つの酒に替へるに他に幾らも快樂はある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

其の方に趣味と財力を傾けしめたからとて勞働者の幸福が侵害されるといふ樣な說は成立たない。況んや禁酒によつて精神的及肉體的に受くる勞働者の利益を忘れてはならない。酒の爲め快樂を失ふは敢て勞働者許りではない、中產階級の人々と雖も同樣である。

□禁酒問題の根本意義

それから又一つの反對論と云ふのは非常に酒好きになると酒を飲まさぬと殆ど氣が違つた位變動を來すと云ふ事で、酒を飲みたい爲めには遂には石油を飲んでも飲酒慾を滿足せしめやうとする、斯う云ふ極端な事を今日勞働者の中で行ふて居ると云ふ人もある、それは俗に云ふ自棄になつた話であらう、そんな事には決して驚くべき事ではない、然し斯う云ふ人間は極く少數である。人間は酒許りでなく、或る意味から色情狂と云ふ全く通常人間の圖る事の出來ぬ色慾を達せしむる爲めに、普通の方法でなく或る機會で恐しい手段で以て慾を滿足するものがある。何んでも之は少數であるがさう云ふものは酒を絕つて石油を飲む類の人間であらう、こんな事て酒を止めてはいかぬと云ふ議論は成立たぬのである、さう云ふ酒を飲むものが少數であるからさう云ふものを犧牲にしても、此の大切なる禁酒問題を解決していかねばならぬと思ふのである。

また或る人は之を小問題として日本は昔よりの習慣で喜にも、悲にも特に結婚、葬式と云ふ場合に大切な儀式として酒を用ゐて居つたから、昔からの習慣を打破してはいかぬといふ。されどもさう云ふ習慣は何にも禁酒に對する反對の理由にならぬから禁酒する方が宜い、要するに問題は酒は宜いか惡いか、酒を飲んだ方が個人の上にも社會の爲めにも肉體上にも精神上にも、或は子供に遺傳して行く上にも、宜いか惡いかといふ事が根本の問題である、若し益があつて害がないと云ふなら禁酒する所でなく却へて酒を奬勵しなければならぬ。併し乍ら今日の醫學から酒の大害が認めて居る以上は、決して禁酒に躊躇すべきものでない、一日も速に斷行して人類の幸福を圖るべきであると思ふ。

一方には吾々共が酒の爲めに何の位金を費して居るかを考へねばならぬ。吾々の社會には文明國の罪か貧乏人が多い、多いのは勿論一つは無駄な事に金を費すと云ふ事も貧乏になる、無駄に費すのは害はないか多く害ある事に其の金を費すのである。酒の如きは卽ち其最も大なるものであつて之れ何うしても人類として反省しなければならぬ。

□酒に費す金を以て營み得る事業

酒は何うしても禁止せねばならぬ、亞米利加で一年間に何れ丈け酒の爲めに金を費すかと云へは、吾々が聞くと噓のやうな實に莫大なる金を費して居る。近頃と云つても數年前であるがボストン大學の禁酒會で、大きい「ビラ」を拵つて次きのやうな事を書いて多くの人に見せた、さうして盛に禁酒運動をやつた。此の貼紙には一番始めに大きい文字で合衆國全體で酒に費す金は十七億五千萬弗(日本貨幣換算にせば三十五億圓)と書いて其の下に若し此金を宜い方の爲めに利用

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

すれば斯の如き結果を得られるとして、順序を立てゝ書いてあつた。

第一、亞米利加四十八洲に於て各十個の病院を新しく設けて、此の病院に對し各十萬弗の建築費と五十萬弗の基本金を與へる事が出來、其の金額を合計すると二億八千八百萬弗

第二、各洲に四つの大學を設け、其各大學に建築費百萬弗基本金百萬弗を與へる事を得此金額三億八千四百萬弗

第三、紐育市から桑港に至る迄の道路敷設費として、千萬弗を與ふる事を得、更に支道を敷設する爲に各洲に百萬弗を與ふる事を得、其の金高が五千八百萬弗、

第四、各二千弗の費用を投じて小兒專用運動場一萬個所を設備する事が出來此の金高二千萬弗。

第五、公立學校（小學校）に於て工業教育を授ける爲め各洲に千萬弗の金を與ふる事出來る其金高は四億八千萬弗

第六、各洲に五十個の圖書館を設け、各十萬の建築費と十萬弗の基本金を與ふる事を得る、此の金高四千八百萬弗

以上の施設の外、尚四千萬弗の殘金がある。之は酒店の代りに、市設娛樂場を設ける爲め費す事を得。

ちよつと斯う云ふ事を見ても、實に酒と云ふものゝ爲めに莫大の金を國民が費すものであることが分る。

□此の計算の前に盲目たる愚

以上は亞米利加で一ヶ年に酒の爲めて費す金であるが。日本に於て一年間何の位、酒の爲めに金を費すかを勘定して見ると其の見積は五億圓だらうと思ふのである。之には何う云ふ計算をしたかと云へば、今年は日本が酒の爲め費した米は五百萬石を費消して居る。さうすると一石の米が五十圓して居るが小賣米でない一石四十圓と見積つて酒の小賣は一石幾らか素人て分らぬが假りに百圓と見ると五百石の米であるから計算すると五億圓になる。若も亞米利加の遣つた如く禁酒令の活動のやうに假りにそれを遣るものとすれば、日本に於ては高等中學校程度の學校が非常に增加するが。大學程度の學校はちよつと出來難い。併し乍ら若し日本人が酒を禁じて五億の金で大學を建設するとせば、五千萬圓の建築費と基本金を合した大學を十個設備し得られる勘定になる五千萬圓の大學と云へば非常に有福な大學である、假りに建築費を壹千萬圓と見積るも基本金は四千萬圓であるから立派な大學が出來るに違ひない。今日の私立大學で新大學令に依る大學は大概二百萬圓位揃へば、最う優に今の大學令になる事出來るのである。二百萬圓位の學校とすれば何うなるかと云へば、一時に二百五十位の私立大學が出來るのである。此五億圓の金と云へば、中央政府の財政が全部で五億圓僅か出て居るに過ぎぬ。丁度一國の財政に匹敵する金が、酒に化して每年飲れて居るやうなものである。財政上より考へても此際、日本國民は斷じて禁酒する價値があると思ふ。特に今日は米が高い非常に苦しい場合に酒を飲んで居る。さうして五百萬石の米は酒を潰されて居るが、本氣の沙汰とは云へぬ。吾々は大に日本國民の眞心に訴へて禁酒運動を大々的に起さねばならぬと切に感ずるのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

不良少年問題

文學博士
醫學博士 富士川游

□不良少年と反社會的行爲の區別

私の不良少年問題に就ての話しは、主として身體の方面より調査したのである。第一に偶發的の不良少年がある、それは偶發の出來事、感動とかゞ著しくなつて身體に故障が起つて、それが爲めに物を欲しがつて遂に人の物を掠めると云ふ事になる。必ずしも愚鈍と云ふ譯でなくして感情、感動が一時昻進して偶發に物を取ると云ふのもある。斯う云ふ行爲は社會の道德とか、法律上の規則に悖る反社會的行爲ではない。一體社會で一般に云ふ不良少年と云ふ言葉は、何う云ふ意義であるかと云へば餘り漠然として居るが、社會上の道德とか、又法律上の規則に悖反した反社會的行爲を云ふものであるが、左ればとて斯う云ふ行爲をなすものが、何れも不良少年かと云ふに必ずしもさうではない、さう云ふ人が社會的基礎たる道德心を有つて居らぬ、社會的規律に背くなら反社會的行爲であるが單に偶發感情で身體の組織に缺陷がある、此の身體發育の方面より考へて居らぬから反社會的行爲と云ふ譯にはいかぬ。

人のものを掠めると云へば、成程反社會的行爲であるが、身體の發育上に缺陷があつて物を取ると云ふても其の間の意味に差違がある我國では明治四十一年頃から精神病學者三宅博士池田學士等の、不良少年の事に就て調査したものがあるが、其後委しい事は聽かないのである。西洋では時折り斷片的で委しい事ではないが聽く事もある。千九百七年獨逸のクペルー感化院で其の生徒に就て委しい調査をしたものがある是等は何れも身體の方面と外觀より立證したものであるが、餘り面白しく感じはせぬ。此の調査は人數百〇五人に對して智惠は中等若くは中以下を詳しく對照したもので良いとか惡いとかをさしたものである。不良少年であるからと云ふて直ぐ反社會的行爲とは認むる譯にはいかぬ。

□意志薄弱の素質より不良少年

第二に素質に依る不良少年は、智惠が下等で著しく性格が魯鈍で荒々して居る。それから環境と云へば主として家庭の事情に基因するもので、今日立派な家に於ても宜く見られる。此の方は性格が荒々ではなく魯鈍の方も尠なくて、たゞ其の周圍の事情に基因して不良性を帶びるに至るのである。さうして動作は溫和である。主として主動的行爲でなく他動的で

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

あるのが多い。實に氣の毒にも思はれる。之は家庭の事情より起る環境に起因するものと云はねばならぬ。私の調査したのは九十五名が殘らず窃盜の罪名であつて、警察の手から感化院に收容されたが、今申した如く素質に依つて出來たものもあるが、其の最も多いのは環境の方である。此の方の子供は不良少年と云ふ名を附するのは可哀想に感じる、溫和で學問も出來さうで智惠もあるが先天的意思の薄弱のものが、さう云ふやうになり易いのである。斯う云ふやうなものは一種の遺傳性と云ふて、親の神經病とか又黴毒か何かの影響を受けて、或は酒を飲むとかと云ふので、一の變質者になつて性來意志薄弱の素質を有つて居るものである。然るに實際は溫和の氣性であつて音樂を好み美術を愛玩する性質にも富むと云ふやうて、ちよつと仕事も可なり遣り一ト通りの話しも上手の方であるが、一體に人より叱られると意志薄弱であるから惡い方面に染み易い、人の物を掠めるのは惡い事ではあるが、是等は身體の組織の上より考へれば不良少年と云ふのでない。人を欺罔して物を取ると云ふ行爲は、反社會的行爲であるが、さう云へば大學生でも之れ〳〵の物が欲しいとかて月謝が滯納になつて居ると云ふて親を誑して取る、斯う云ふ事も反社會的行爲と云へば可愛相である。斯樣の例は上流社會にも幾何もある事である。

宗教的道義的の精神滅却したる家庭に於ては、往々不良少年を出すので、親が餘りに贅澤を極め金錢を濫費するとか、斯ふ云ふ處に生れた子供は自然親より其の遺性を受けるから不良少年になるのが多い。麗はしい上流社會に於ては不良少年の出來さうもないやうてあるが、一々之を調査して見ると大なる缺點が這間に伏在して居る。それて環境殊に家庭の良い方になれば長い間注意をするから、其の子供が矯正される子供の身體より來た故障は環境即ち周圍の事情に依て盛り返す事が出來るのであるから、子供の取扱ひを宜くして幾分矯正していかねばならぬ。

□少年時代の放縱は生理的自然

不良少年になるものは、多く精神の働きが不充分に思はれるやうてある、惡い事をするとちつとても子供が窃盜をすると親が叱りつける、斯う云ふ事は大抵何處の親ても同じてある。叱り付けるから子供は精神を矯正する方よりも、もと〳〵意志が薄弱てあるからして、直ぐ外に飛んて行くと云ふやうになる。固より人の物を取ると云ふ位てあるから、子供の身體の組織が著しく他の普通の子供に較べると違つて居るから、家庭の周圍の事情に眼を注くやうにしなければならぬ。

上流生活の中でも斯う云ふ放縱亂暴な子供は、先づ澤山に居ると云つても宜いのである、木の上に登つたり同じ子供を苛めたり、女ならば拗れたり又母親を困らしたり、是等は放縱の性格てある。亂暴と云ふ程てはないが斯ふ云ふ事は人間として自然にさう云ふものてある。男女にしても運動力の盛なる時は十二歲より十四歲迄て、此の間は大に亂暴をする、此の時代は人間の放縱て自由に働ける即ち生理的さう云ふ働きになるのてあるから、之は惡いとは云はぬのてある、斯う云ふ事は性格として精神は決して惡くはない。此の時代の子供は適當の活動をなするのてあらう、自然に年が嵩むなれば自覺するのてある、それて世間に宜く活動されて居る人などは多く此の十四歲の時より身體及精神の働きが宜くて社會に活動且つ努力されて居るやうに思はれる。それて十二歲より十四歲迄に放縱の質てあるとしても、さう驚くには及ばぬ生理上さうあるべきものてある。

普通に筋道がさう出來て居るから、さう云ふ性格に向つては親達の干渉するのは宜くないが、親としては案じられ危險てもあるから家庭に於ては注意をするの

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

は萬全の策であらうと思ふ。斯う云ふ時の子供は最も注意すべきである、そこが又難かしいのである、仕事を吩咐けても厭ふやうになつたり、興味もなく怠ける奮發心がないやうになつたりする、叱り付けるとフイと外に出て居て人の軒下や神社の床下に寢て居る、寒いとも感じない。斯う云ふ經路を辿つて遂う〳〵不良少年の仲間入をするのである、又性來惰ける少年がある、生來考へも遲い何も疲勞なしに惰ける。ザツト其の子供を見ると奸智いやうである宜く調査をすれば實に氣の毒である、仕事を吩咐けても出來ないのは無理もない。智力も足りぬ一つは病氣の爲めで、自然に惰けるので斯う云ふのは不良少年でない事は想像が出來るのである。

□外觀的結果よりも身體の缺陷に

私の實驗した一つの例を云へば、八歳になる男兒であつて親より仕事をせよと云はれても仕事をしない、親は亂暴にも毆打する、衣食は愚かシャツ一枚にして叩き出した、仕方がないから、家を外にして遊び歩いては人の軒下に寢ると云ふ始末で、此の男兒は今感化院に收容されて居る、此の男兒が云ふのに、惰けると云つて親が拳固で毆ぐるから、家へ歸れぬ怖い〳〵と云ふ、それで始めて氣が注いて身體の組織に缺陷がある病的でさうなつて居る、耳の鼓膜も壞れて居るのは親が毆ぐり過ぎた爲であらう。唯仕事に惰けると云ふて叱付ける親は間違つて居る、病的で仕事に働く事が出來ぬのである。感化院ではブラシュを日課として拵へる事にして居るが他の同じ男兒は日に五つも拵へるが、此の兒は一つも出來るか出來ない位である、時々一つも出來ないかと云はれるから他の兒の拵へたブラシュを盗むと云ふやうになつて居る、實に可愛想なものである。

一概に不良少年と云ふが、其の事情を精査すれば氣の毒のやうなものがある。前述の通り偶發の事で物を欲がる上に宜い事か惡い事か分らずに窃むと云ふやうなもので、事情可愛想なものが居る。終りに一言附け加へたいのは十三歳の男兒が強姦したと云ふ。之は山口縣萩のものであつて警察に拘留されて調査したのであるが、刑法の處罰を受けずに感化院に收容されたのである。此の男兒は虚言が多く、猜疑心が強い物事を疎忽にし、猥褻の言葉を使ふ、虚榮心にも富んで居る斯う云ふ性格の兒であるが私の調査して所では警察の調査に信を措かれぬ、此の兒の強姦の發動と云ふものは、大工の弟子であつて同じ兄弟弟子が云ふには、俺は十三歳の頃は斯う云ふ方法で宜く少女を強姦したるものであると暗に其の方法を教唆したやうである、十三にもなつて居つて少女を強姦もされぬかと、大に不甲斐ないやうに云つたと云ふ、之れが強姦の動機であつた、個人として斯樣の事をされさうもないので、それて警察の調査は私は嘘であると思ふ。是等は何れも環境特に家庭の不注意から基因したのであるから留意すべき事である、此の男兒は本年十五歳になるが強姦した當時は十三歳であつた。

何れも少年の事であるからして將來の事を考へぬ斯ふ云ふ罪になるとか分らぬて遣るのが多い、何時であつたか放火未遂で五年の懲役になつた少年が。一年の月日は何日頃なつて一年になるかゞ分らぬので、五年とは何日であるかと警察官に質問したと云ふ話がある。それから何の犯罪であつたか二年の處刑を受けたが二年は酷であるから一年半だけ監獄署の小使にして貰ひたいと願つたと云ふ

是等は何れも境遇の惡い所から起るのであるからして、環境主として家庭の事情に意を用ゐて少年を監督しなければならぬ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

不良少年に就て

高島平三郎

□生理的開路作用の缺陷

一體社會にはありがちの事であつて法律を犯したり道德に悖つたりする行爲は甚だ宜くないが、法律に悖つて泥棒をするとか道德に背いて詐欺を働くとか云ふのは人としては皆斯う云ふ考へはないのてない、必ずさう云ふ考はあるが、唯それを行はないと云ふに過ぎぬのてある。必ずさういふ考は人は誰れも有つて居る。斯うすれば惡いと云ふ道德の觀念に制せられ、泥棒をすれば投獄の耻を晒すと云ふ其の苦痛があるからさう云ふ行爲は行られぬと云ふ迄てある。年を積めば色々に考へて來る、然るに少年ては五官の作用が熟して居らぬ、一方に偏して其の感覺、感情が全く孤立的て働くから惡い事にも趁るのてある。全く組織的の性格が一方に傾くから失策を出すのてある。されぱと云つて前にも述べた通り斯う云ふ心は人々は皆有つて居るが、唯制裁を知つて居り惡い事は出來ないと自制されて、一方ての働きがあつても一方てそれを抑へる結果が道德法律にも悖らぬと云ふ事になるのてある。

それて身體も心も一方て働けば一方て止めるから宜い、其の開路作用即ち路を開く作用が生理的に備つて居る、心もさうてある。それて一方ては惡い事を遣らうとしても一方てはそれを抑へ付ける此の心が少年にはないから衝動性のみ發展して、個人として其の考を附ける事が出來なくなるから、危道を歩むと云ふ事になる。不良少年は、此の開路作用が薄弱だからなるのてある、それて社會に儼然として勢力のある人には恰も蟻の砂糖に附くやうに其の偉い人を中心として何萬人の人が世話になつて働くと云ふやうにこれと同じ惡い友達は何處迄も惡い友達を便りて事をなすと云ふのてある。それて孤獨悲哀の感に耐へぬと云ふ人などが何處迄も孤獨は悲哀てあると感じて他の同感の人が訪れて互に話したら人情相合して私も孤獨悲哀てあると共鳴し、沙漠の中吾一人てあるかと思つたが共に其の苦を分つて其の感を同じうしたと斯う自白をしたと云ふ事てある。

□不良少年と社會教育の缺陷

それて惡い事てはあるが惡い事とは知りつゝも死にたくはなければ、勢ひ泥棒の仲間入りをもしなければならぬと云ふ事になる。さう云ふ性格てあれば惡事をするのも當然の事と

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

思はねばならぬ、それで若しも惡い方の仲間入りの方になつて外觀的に現はれると云ふので、社會の道德に背くがそれは已むを得ぬのである。米國の市俄古の醫者であつて幼年裁判て有名なるヒリーと云ふ人が、非常に苦心して是迄實地に衝つて查覈調査した事柄であるが少年の惡事に就の統計てあるが、其中て竊盜が一番多かつたと云ふ事て千人中に必ず四十五人の窃盜犯を見たと云ふ事である。之は孤鼠〱泥棒て家宅に浸入して大きい繼當は出來ぬ、何れも店先て人が居ないと云ふ機會を見計つて遣る事てあらう。極めて簡單な泥棒てある、次ぎは無斷缺席て學校に入つてから父兄には學校に行つたやうに見せかけて外遊びをする。其の次ぎは虚言を吐くと云ふのが多いやうてある。次ぎは拗ねたりする、それから屋外睡眠てあつて夜間入家の軒下に眠る癖てある。之れには女の子も混つて居る。最近吉原ても此調査をしたが女子ても一年以上も吉原て人の軒下に寢て居ると云ふ事てある。之は女將イヤ鬼神のお松と云つたやうな系統てあらう、十四歳位の女子て平氣て寢て居ると云ふ此方の統計は八十五人、それから本式の泥棒は先づ千人中に五十五人あると云ふ事てあるか。

それから戰慄すべき事てあるが、ピストルなどを振向けて暴行を働くのもある。是等は酒毒とか性慾の關係等より起る事て先づ飲酒の結果より始り易い。此の方の統計は千人中二十七人程ある、疳癪俗に云ふ短氣、此の癖は誰ても有つて居る。仕事をして居ても何にかするとはすぐ癪に障る。それから殘忍の性質てある。之は八歳より十二、十五歳迄の子供に宜くある。蛙の足を取つたり蛇を叩き殺したり、惡い惡戲をしたりする。斯う云ふ性質は遂には社會を害したりする事になるのである、又詐欺の行爲とか虚僞の告訴、掠奪等は女子にも見えるやうであつて、ヒリーと云ふ人は細かに之を調査したのてある。是等は何れも千人中四人はある。往々社會の狀態卽ち環境の方面より色々な犯罪を招く事になる。特に田舍の子供が淋しい道を歩いて居ると、此處には人が居らぬからと云ふて惡戲をする、或は氣候の變化に依つて婦人などの犯罪も起る、之れが不良少年の仲間入りをすると云ふ事て、猥褻の行爲や、强姦などは人家が稠密して居ると行はれぬのてある。子供はさう生れつき不良と云ふのではなく周圍の事情から自然にさうなるのが餘計てあるから、家庭の方ては宜く注意をしなければならぬ。唯惡戲をしたから叱り飛すと云ふ風て、其の原因を究めずに子供を怒るのが世間に能くある私は之を見る每に涙が溢れるのてある。實に可愛想に感じられて耐らぬ。

□活動寫眞の惡影響

それから第二の方面は遺傳てあるが、此の遺傳の方も極めて尠くない。之は身體の上にも精神の上にも必らず變質が現はれるので、斯う云ふ事にも氣を附けねばならぬ。變質の徵候は獨り不良少年のみてなく何れの人にもあるが、唯一方に依つて强き罪を犯すものはデクネラチオンと云ふて十七歳當りの青年に宜くある。是等は立派な狂人て平常は溫和てあつて智惠は遲くれて身體は發育する。婦人を見るとさう云ふ一

方に心氣衝動する作用が激越になるのである、此の症狀を來すと感化院に入れても癒えぬのである。此方は二百人中二十人位の統計である。斯う云ふのは社會全體より見ても餘り敎育に注意せぬが、根本問題で個人としても留意すべき事てある。

第三は意思の方てある。一體日本人を心理的に觀察すれば惡い習慣がある。酒を飲む煙草を吸ふのは金も餘程要する譯て、之は平生の習慣てある。それから一番私は惡いと思ふは活動寫眞を見にいく事がある。之が直接少年に影響しないとしても間接に誘惑挑發させる事になる。多くは十六七歳から此の活動寫眞を見て性質を惡くするのてある。十中の八九人は總て此の方の感化を受けて不知不識の間に惡習慣となる虞があるから、家庭に於ては宜く監督を怠らないやうにしなければならぬ。惡い事はさせないやうに指導していかねばならぬ。然し嚴しいばかりて興味がなくてはいかぬから、勿論愛すると云ふやうにしなければならぬ。

不良少年は多くは前述の如く、意志薄弱てもあり精神修養の缺如から直ぐ刺擊の如何に依り墮落し始める。何しても人間は孔子も云はれた通りに三十にして立つと云ふ如く其の年頃にならなければ自由に意思が纏まらぬものてある。十二三歳から廿歳前後が一番危險性になる。それから進んては人をも殺すやうにもなる、之れが如何なる原因より來るかを此處て一々理由を說明する遑がないから省略するが、元、實業家てあつた山本某氏が論文に斯う云ふ事を書かれた。私は之を斯う云ふやうに簡潔にして御參考迄にと茲に揭示した。

感情方面

一、感情激變。二、感情疎野。三、同情及愛情の欠乏並限局。四、虛榮心强烈。五、嫉妬猜疑心。六、信仰欠乏、

智力方面

一、智識欠乏。二、斷片記臆に富、系統記臆に乏欠。三、想像力の欠乏。四、好奇心の欠乏

意思方面

一、意志の薄弱。二、注意の固勢力なし。三、道心欠乏。四、自治獨立の精神なし 五、本務の念に乏し。六、經濟思想欠乏。七、不整頓。

□北海道の藝娼妓□

昨大正七年十一月末日現在藝妓娼妓の總數を見るに娼妓二千五百九十二人、藝妓二千五百十三人、十三歳以下四十九人、酌婦仲廻り仲居三千三百十六人、十三歳未滿一人、宿屋の雇女二千百六十八人、十三歳未滿十二人、其他二千七百七十七人、十三歳未滿一人、又未だ稼業せざるも將來其目的を以て同居する者三百六十四人、十三歳未滿二人、總合計一萬四千二百四十人、十三歳未滿七十三人、是れを貸座敷所在地四十ヶ所の各警察管轄別にすれば娼妓の最も多きは函館區の五百九十人　札幌區の三百〇七人、旭川區の二百七十七人、根室町二百二十二人、小樽區百九十八人室蘭區百五十人、釧路町百三十九人等てある。百人以下ては帶廣町の九十六人、瀧川町の八十六人、網走町の六十五人其他は十人以上三十人位迄にして最も僅少なるは古平紗那各二人宛てある。

▲藝妓の多數を　占めなるのも函館區て四百三十一人、小樽區の三百八十五人、旭川區の二百九十八人、札幌區の二百十三人、室蘭の百十三人、釧路の百人、又百人以下ては網走の六十九人、倶知安の六十五人、帶廣の六十三人、瀧川の六十十人、岩見澤の四十四人、岩内四十四人、士別、深川、瀨棚の各三十八人、名寄の三十三人、余市三十一人、根室二十八人、江差二十九人、留萠二十四人、夕張、壽都各二十三人、苫小牧二十二人池田二十一人、古平、下富良野各二十人、其他は二十人以下てある

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

都市住宅問題

東京市統計掛長　田中太郎

□□ 都會に於ける住宅問題と二十九平方哩の東京市街 □□

都會に於ける住宅問題は、最近に起つた問題であるが、之は重大なる問題で、ずつと以前には何處の横町に入つても貸家とか賣家の札が貼つてあつたものである、處が今日では貸家とか、賣家等の貼紙が容易に眼に付かぬと云ふ有樣である都會に住む其の住宅がないと云ふ八ケ間敷い事になるので棲むに家がないとしたら此程苦しい事はあるまい。私は日本橋に生れたものであるが、以前は樹木などもあつて空地もあつたものだ、子供の時などは蟬を捕つたり、バッタを捕らへたりして宜く樹木に攀ぢ登りなどして遊んだものであつたが、近來は樹木もなければ空地もない斯んなに地面がなくなつて了ふた。そこで家屋がなくて住ふに家がないとしたら、何うしたら宜いかと斯う云ふ問題になつて來る。

一體都會に住宅がないとは都會に空地地面がないと云ふ事を意味するのである。餘りある土地があれば住宅問題は起らぬのである、近來交通機關が完備してから、東北、東海、北陸線等により東都に入込むものが次第に增加した。交通不便の江戸時代にはさう入込まぬのであつた。それから經濟界の變動と交通の變動て人々の移動と云ふものが急激に增して來て減ると云ふ事はない、何れも地方より都會を指して入込む。そこで都會計畫問題と云ふのは卽ち都市人口問題と云ふ事になるのである。さうして人口の增加に伴うて廣大の土地を要するが東京などは空地あつたとしても僅かであるのに、人口は年は增加するのみであるから、爰に於て社會問題が起つて來るのも無理ない話してあらう。

社會問題とした所で何うするか、人口は增加し土地は一定の面積で限られて居る。何處から何處迄と調べて見ても空地がないではないか。實に困まつたものである。又他の一方では犯罪の增加も矢張り人口增加に連れて起つて來るのである。何れも是等は注目すべき事であるが何う考へて見ても東京市は二十九平方哩の面積である。統計上さう割出してあるが、此の二十九平方哩外に土地を延ばすと云ふ事は出來ないのである。二十年前の人口は百二十萬であつたが、それが今日では二百四十萬、先づ殆んど倍數になつて居る。然るに土地の面積は古の儘で殖える事がない、從つて地上の空間など却々ない。さればとて樹の上に寢る事も出來ぬ、屋根の上に寢る事も出來ぬから何うしても一定の家屋に寢泊りする外がないのである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

近頃米價が奔騰して居るから多くの人々も研究しては居るが、住宅問題には識者は餘り意を注かぬやうである。米には代用品があるから米を食べられぬなら麥とか、馬鈴薯とか、芋とか幾らも其の代用品があるが此の住宅問題には代用所でない屋賃が高いとてマサカ森の上に烏のやうに寝て居る譯にはいかぬのである。

□□ 都會住宅問題を緩和せんとせば庭園税も之亦一策 □□

私の考では都會住宅問題は、食糧問題の解決よりも最と至難の事であらうと思ふ。大正六年度東京市の人口が二百卅五萬人あるが此の增加率で進むなら大正二十六年には四百八十萬人となる豫定である。此の趨勢で今後益々人間が增加すれば重大なる問題となるのである。さうして今申したやうな東京の地面が二十九平方哩の面積では、如何ともする事が出來ないからして、勢ひ何うしても土地を擴めていかなければならぬのである。さうすれば幾分補ひが出來るが、何う土地を擴めるかと云へば東京市外の村落、郡部の方に押し擴めれば宜い。成るべく市外の土地は利用すると云ふ事にするのである。さうして近頃新聞に庭園税を課したら何うかその說も見へたが、之も一理ある事であらうと思ふ自分としては庭園などないから贊成だと思はれるが。一般公衆の上より見れば棲むに家がないと云つて騷いで居る今日に一方富豪が金の爲めに地面を買ひ樹木を繁茂させて朝晩眺めて樂むと云ふのも、酷い話してあるから庭園税などは課するのは宜いと思ふ、今日勞働階級の人々が九尺の長屋にも住み兼ねるので困つて居る。此前或る米國人に會見したが、東京の道路は一體道路になつて居らぬ、寧そ船を浮べてはどうかと皮肉られた、私は此の一言で全く恐縮した。本當は雨が降ると泥海になる丸で道路でないドブ〳〵して居る。鵝鳥が出ると云つたが眞逆如何に雨が降つても鵝鳥は出ないが、外國人は斯う嘲つたのである。されば[と]云つて天氣打續けば砂が飛散して二間先き三間先きは分らぬと云ふ有樣で、さなぎだに危險千萬なる街路であるから、何時電車や自働車に衝突して軌かれるやら分らぬと云ふ物騷千萬な道路である。私は無遠慮に云ふなら東京の街は人に苦しませるやうに出來て居るものであると云ふても宜い。斯う云へば東京の街は何うしたら徹底的に安全に步行し得られるか、二百五十萬の市民が日々あつけらかんとして口を開いて住んで居るのが不思議と云はればならぬ。

私が倫敦にいつた時に知合ひになつた紳士が、昨年の夏日本に來られたから、私は東京市を如何に見られたかと申したら、紳士は驚いたと云はれた。成程倫敦と云はず大概の良港には御承知の通り船が棧橋に橫附けになると、トランク其他の自分の荷物は中間手續て巧く取扱はれる、それは革袋などは錠を添へて其儘取扱所に差出すと稅關の檢査をも濟せて其の革袋が自分の居るホテルに屆けられるのであるから、自分は船を下るとステツキ一本を持つて身輕にホテルにいかれるのであるが、此の取扱が橫濱にない、又橫濱にレールステーションがない、船が附くと棧橋から其の停車場迄步かればならぬ、レールて滑つて身輕く其の目的地に着くと云ふ事が出來ない。先達つて巴里の講和會議に往つた牧野さんが出發の際始て此のレールを敷いたと云ふ話てある、此の設けがないから船より下りても一哩の間步くに炎天に身體を曝げ出すと云ふやうな始末て、良港としての橫濱に此の設備が完全にしてないのは遺憾だと云はれた。

□□ 外人の嘲笑市街の惡道路と官衙の空地の利用方法 □□

それから外國人が日本に來ると先づ驚くのは、停車場前に空地がある事て、何の爲めの空地であるか分らぬから、之には驚いたと云ふ事である。一體東京の道路は道路てない道路になる豫定地てあらうと云つた。雨など降ると車道か步道か分らぬと云ふて居る。昨年の秋てあつたか英國よりサミユル、シユーと云ふ人が來た、此の人の幹旋てグツトロード、アツソセーシヨンと云ふものが出來た卽ち道路改良協會で、此の協會て東京の道路を々良していくと云ふ方針てある。會長には前內務大臣の水野さんや、澁澤さんも居る。それは空地などあればそれを利用して地面を有利にして完全なる道路を作りたいと云ふのである。東京に地面がなければ住家は建てられぬと云ふ譯でない、それは整理をし官有地などを利用すればないのでなからうと思ふ。此の問題に關聯して吾々は宜い事を聞いて居る、それは二月三日衆議院の豫算委員會の第四分科で高木益太郎さんが、山梨陸軍次官に質問された事て、陸軍省所管ての空地と云ふものが拂下ても差支へないと云ふ空地が何程あるかと、此の問ひに對して同次官は四萬坪の不用地あると云はれた事である。四百萬坪と云へばそれはザツトの調査でモツト精細に調査したなら或は千萬坪位はあらう。之は私の想像てあるが四百萬坪と云つたのは最少限度に見積つたのてあらう。此の四百萬坪には全國に對しての所管の不用地

てある事を記憶して欲しい、之は宜い材料である。

それから大藏省や、内務省や其の門内には建物に何倍する程の空地がある。それを氣が附いて居るか何うかは知らないが私は空地としては勿體ないと思ふて居るから、之を相當に處分したら都合が宜くないか。私は丁抹のコペンハーゲン市に視察にいつたが、少しく調査の事で司法省を訪れた所が、グラルドーと云ふ書記官が面會してくれて種々の事情を訊いた揚句に、又内務省にも用向きあつたから、内務省を尋れたら直ぐのドアーを開けると直ぐそこが内務省であつた、一つの大きいビルヂングの内に各省があるので實に執務上便利のみならず外より來た人が如何に便利であらうか。日本では司法省と大藏省とか、文部省などと云ふと何うであらう約一哩位歩行しなければならぬ、それて住宅問題としても地面の空地利用で必要であるが各省を一纏めにすれば地面もさう餘計に取らぬとも宜い事であるから、住宅問題を緩和する事が出來て之を利用すれば一つの助けにもなると思ふ。それで又云ふ事があるが、役所の門内にには空虚の地面があるから公園にして開放しては何うか、子供などの遊び場所にすれば如何に面白く樂しく遊ぶであらう。先づ内務省に限らず何處の門内にも這入らうとすると金釦を附けた門番先生は、大きな眼で子供など入らうものなら叱り附けると云事で、子供等は命から〳〵逃げると云ふやうな有樣である。子供等は遊ぶ所がないから勢ひ電車や自働車の走る道に遊んで居ると云ふ事であるから怪我もし電車に軌れる事になるのである。

それで私は平生考へて居る、或る特定地に態々大金を投じて公園地などを建設するよりも役所の空虚の地に公園地などを建設した方が金もさう餘計に要らぬから經濟的に施設されやうと思ふ。然るに事實はさうてない。役所内に娛樂場として公園などを設置すると馬鹿な役員は第一に威厳に關するとか云ふのである。それは大なる誤解であると思ふ。私が今、其の實例を擧げて見れば、愛蘭の北方にあるベルハウス市の役所を訪問したが、其所に廣い空地があるが、其所は公衆の爲め遊戯場となつて居つて草花が見事に咲き亂れて居つた。然るに東京にある役所などで門番は嚴然として門内に入ば叱り飛すと云ふ見幕で、斯う云ふ風であるから人民は敵視して事毎に圓滿を欠き衝突をすると云ふやうになるのである、官吏は人民に依つて斯う立つて居ると云ふ事を知らぬのである。

□□ 住宅問題は米價問題より解決一大至難たらんとす □□

斯樣に地面も不足であつて收獲米も乏しいと云ふて居るが、歐洲大戰に出逢ふて我國も聯合軍に參加して何も考へずして食糧品や何でも賣つて輸出が増しとか大に歡喜して居つたが、昨年の米騷動のやうなものが突如と起つた。歐洲交戰國では食糧問題に就ては調査員を設けて愼重に調査研究をして居るにも拘らず日本では何の考へもなくドシ〳〵と食糧や其他を賣飛して國費が増したとか歡んで居る。金があつても米がないと云ふ騷きであつた。然し之が原因となつたのでなく種々原因もあらう、通貨膨脹とか又外米も輸禁とか云ふので歸する所は人民許り難儀をすると云ふ事である。是等は要らぬ話であるが矢張り土地に關して云ひ得るのである。

一體東京市の地面は何坪あるかと云へば、之は土地臺帳と云ふものがあるから

結婚と離婚

穂積重遠

▲**婚姻の變遷** 原始時代には婚姻制度はありませんで。即ち定まつた夫とか妻とかゞなく、禽獸に等しい狀態でした。次に團體結婚個度が出來、一團の女子の群と他の一團の男子の群との間にばかり結婚が許されるやうになり、次第に範圍が狹められて來ました。今日の結婚は一生の關係ですが、昔は一時的のものもあつて子供が相當の年齡に育つ迄と云ふやうに期間を定めてしたものでした。又多夫、多婦が一夫一婦となり、現今の狀態となつたのです。次に婚姻の方法から沿革を見ると掠奪結婚とて婦人を暴力で以て奪ふことや、賣買結婚とて金で買ふ事、贈與結婚とて又が娘を贈ると云ふやうに、總て婦人を品物扱にしたのが協諾結婚と進歩しました。族外結婚と族内結婚と云ふものもあります、即ち一族の間でだけ結婚すると云ふのと、一族の間では結婚しないで他族の間だけで婚姻する即ち近親結婚を喜ぶものと嫌ふものとあるわけです、又近頃になつては一九一一年に死んだ英人フランシゴルトン等が人種改良を唱へてから、人種改良上よりの結婚が非常に唱へられるやうになりました。

▲**婚姻の將來** 婚姻制度の將來は手續に於ても制度に於ても自由にするといふ事です。結婚は如何にして成立するかと云ふに結婚する者は結婚すると云ふ意志がなくてはいけない、又意志があるばかりではなく、其意志を表示せねばならない、戸籍上の手續等をする。それから結婚年齡は男滿十七女滿十五てあるが文明國中最も年齡の高いのは白耳義て男女とも廿

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

分る、官有地面を合せて前述の如く二十九平方哩であつて、此の合計二千三百五十萬坪位である。さうして官有地と云ふものは八百六十五萬坪であつて、殘りは民有地であるから、二千三百五十萬坪の三分の一は官有地であつて、殘り三分の二は民有地である。其中、陸軍省其他の所管に屬する土地は壹百萬坪で、それから、千五百萬坪は市民所有地と道路、川なども含まれて居る。何んでも二十九平方哩の此の二千三百五十萬坪に人間が棲息して居る勘定である。さうして此の一平方哩に七萬九千人丈け居る計算であるそれて倫敦の面積は何んなものかと云へは百十七平方哩で四百五十萬て一平方哩に居る人間は三萬九千人に過ぎぬのである。それから巴里の面積は何んなものかと云へは、東京の面積と同じて一平方哩に九萬二千人て、伯林は一平方哩で八萬二千人であつて、亞米利加の紐育市は一萬七千人てあるが、紐育全體から云へは平均一萬六千人になる勘定である、市俄古一平方哩一萬二千人てあつて首府の華盛頓府は三萬六千人てある。現在は之て滿足して居るとしても人口の増進率は非常の勢て進むから、住宅問題も米問題と同じく識者の研究を煩したいのである。それには官有地を巧く利用するのであるが、それよりも前述の話の通りに庭園税を課するのも一策てあるが、それよりも一人に就て是丈け以上地所を所有する事は出來ぬと云ふ事が必要てある。金さへあればドシ／＼と土地を買はれると云ふ事ては困る、さうして廣大無邊の庭園を作られて人民が今、住むに家なく苦痛を感じて居ると云ふ矢先に金持は無頓着て朝晩に庭園を眺めて晏然として樂んて居ると云ふ事ては庭園税を課する位ではまだ足らぬ。私は宜い話しを聞いた、それは岩崎男は駒込の富士前町にある別邸を開放すると云ふ事てある。私は之を本郷區役所に紹介したら總坪數は六萬五千坪あると云ふ。然し之は一般的開放になつて住民の長屋建築と云ふ事にてもなれば可いが、三菱には賢明なる人士あつて矢張り三菱系丈けの住民に限られるのてあるまいか。私は住宅問題は米價問題以上喧しく難しくなりはしないかと危ぶみ且つ怖れを抱いて居るものである。

一歳です。又再婚する女は、夫に別れて後や又離婚して後は六ヶ月後てなければならない、其は精神上の事もありませうが、妊娠等の場合て先夫の子と現在の夫の子とが解らなくなる等の血統混亂を避ける爲です。姦通の爲離婚された者は相姦者と結婚してはならない佛國ては一九〇四年の法律が廢されました。それはかう云ふ理由だつたのです。法律ていくら禁じても事實上私通の狀態を續けて居ては何もならないそれより相愛する二人が結婚して自由な生活を樂しませた方が善いと云ふ事てした。近親結婚は何故惡いか。子供に害があると云ふ理由だが、近親結婚は子供に果して害があるかどうかと云ふのが學問上聊か疑問ある事て生理上よりむしろ道義上から云ふのであらうと思ひます。又近頃の新しい問題としては、內地人と朝鮮人、臺灣人との結婚て、朝鮮、臺灣には戶籍がないので昨年共通法の成立に依つて結婚が出來るのてすが戶籍上の手續が出來るかどうかの問題てす。かうして成立した結婚が夫婦關係を生じ、近年は妻の地位子供の地位の向上に向ひつゝあるのです。

▲夫婦、別體主義　女權擴張として、敎育上から經濟上から、政治上から、法律上からの此の四種になつてゐます。夫婦の平等は男女の平等程に認められて居らず、夫は妻を支配する事が因習に依つてさうなつてゐる、英國等ては夫婦同體主義が行はれ夫の人格と妻の人格と一緒になつてゐたが、圓滿の時はそれてよいがさうてない時は非常に困るので夫婦の別體主義と變りつゝあります、日本のは夫婦別體主義て財產も別々になつてゐる。細い點に於て夫婦間の財產上に大に研究し改良すべき點があるから、これ將來の婦人問題は發展すべきてす。（女學校同窓聯合會講演）

獨身婦人論

文學博士　三宅雪嶺

▲雲上に於ける夫婦制の歷史より＝臣下に示されたる尊き新典範▼

憲法發布後、皇室典範をも御公布になり、始めて卅三年に御大婚があつた。之を廣き意味でなく、ズット狹き意味に解釋すれば宮中に於て皇室典範を制定せられて後一般家庭に就て始て御威信を垂れさせられたのであると思ふ。古へは皇后幾人かを置かれるお定めであつた。大昔の代には四人立つて其の中の一人を正妃と定められた。支那では秦の代は參人であつて其後十二人に增し、其後三九二十七と云つて廿七人を增し、それから八十一人、續いて百二十一人に迄になつた。其後さらに三千人といふ樣な事になつたのである。斯うなつては實際家庭の爲めになる筈はない。それから改革があつて三人に減じて左近とか右近とかと云ふて正妃の外に左右に侍べる事となつた。其後又五人を置かれたと云ふ事であつた、それから例を下々に取つて代々斯樣に婦人を多く併べて置くやうになつた。

日本の歷史の例では、皇后を二人併べて置かれた。皇后二人と云ふては穩かならぬが、それは一條天皇の御宇であつて中宮と云ふものを置かれた。之は皇后と同じ格であつたが、其後には中宮を置かれなかつた。德川氏時代には內宮と云ふものを置かれた、明治維新になつて正式に皇后御一人を御立てになつたのである。

家庭にあつても日本と支那との家庭は聊か異なつて居る、日本では御一人と形に現はれて來たのは御大婚であつて、之は皇室典範が御制定になつて上御一人の皇后と云ふ仰であるから下々の萬民に至る迄、家庭にも一夫一婦であらねばならぬと云ふ事に形に現はれたのであると思ふ。是迄は實際はさうでなく將軍家を始め大小名も何萬石を取ると云ふ其の祿高に應じて婦人幾人を側室に置いたやうなものであつたが。今日はさうでなく、上御一人の皇后と御定めになつた下萬民も同じ一夫一婦と云ふは家庭の中心となつたのである。

▲男女の獨身は或は生活難より＝或は天職の自覺よりも來る▼

男子一人に對して婦人が何人とか家庭に居るものとすれば實際婦人は心持が宜くあるまい、家庭は圓滿になると云ふには一夫一婦であらねばならぬ。それで家庭のパラダイスを得られぬならば心を練り心を改めて此のパラダイスを得るやうに努めていかねば、家庭に重きを置くものと云はれぬ。なれ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ど家庭の趣味に重きを置くと云ふのが又難しい、と云つても易々たるものである。何んでも家庭は幸福であれば宜しいが其の宜い程度に持つのが却々難しい。妻を娶つて圓滿に家庭を作るやうにしたいものである、さうではあるが若しも夫婦の間に離婚をすると云ふ時にはさつさと離婚が出來得るやうにしたい。餘りに強拗性で離婚するに惜むやうでも困る、いかぬならばさつさと別れるがよい。青い疊は何時見ても宜いと思ふが、家庭に責任を感じ、重大なるものとして家庭を重んずるならば、何も云ふ事がないが、ひよつとすると自分免許の蕩樂が嵩じて、名譽をも顧みず家庭を外にし遊蕩に耽ける云ふ事になる、こんな夫婦の離婚まで引止むる理由はない。

又た世の中では斯う云ふ理想を持つてる持も見へる、自分は今重大なる職務に從事して居るが婦人を持つと妨げになつて困る。家庭を持つて禍を受けんよりは、いつその事家庭を持つ事を延ばして一意專心事業に奮勵して見た佛と斯う云ふ人は後處此處にも見えて居る。

世の中には僧侶とか、尼さんも居る、夫を喪なつて菩提を吊ふとか其他の關係もあるが、尼さんや僧侶などは、佛に歸依して唯佛を頼ると云ふ根性である、唯さう云ふ依頼心丈けであるが、之と反對に自分は自分の天職があつてそれを仕遂げやうとする點から妻を娶らぬとか、家庭を作らぬとか、或は庶民一般の幸福を指導するとか、國家を正義に導くとか、社會を覺醒するとかと云ふ遠大の希望を以て家庭を斷念しやうとして、其の事業に衝つた人も見える。元大藏大臣の渡邊國武氏なども其の一人であつた。矢張り無妻主義で遣り通した、或は失戀の結果であると云ふが何う云ふ所からさう云ふ噂が立てられたのであるが、事實は大に間違つて傳へられて居る。世の英雄とか、英雄に限らざるも家庭を作らずに一生を終つたと云ふのも指折り數ふる程見えて居る。何にか面白い事業をして見たいと思ふ人は、家庭の煩累より遁れやうとする。様々の事業に伴つて家庭を作りたくなくなる、勞力餘計の人などは家庭を作らぬ方が或は宜いかも知れぬ。

▲獨身婦人の社會的貢獻は＝寧ろ感謝讃仰せばならぬ▼

男子の方で家庭を作らぬければそれで宜いが、然らば婦人になると何うである。婦人にしてもひよつとすると男子同様己むを得ず家庭を作れぬ事がある、セシル、ローバ女史ナイチンゲール嬢等なども獨身で獨立して社會の事業に立障つた人である。婦人にしても家庭を作り得られぬと云ふのは、境遇上とかズット進んでは社會事業に立障ると云ふ遠大の志望あるからで、尼とか僧侶とか單に佛に歸依したい、依頼したいとか云ふのと、ちよつと趣が異うのである。他に力を盡さうとすると一身一家を顧みる事が出來ぬと云ふので之も已を得ぬ、斯う云ふ人には家庭を作る事を慫慂してはいかぬ。強いて家庭を勸むる時は之れ無理を勸むる事になる、中には自分はスヰート、ホームを擬ねたいと思つて、スヰート、ホームの歌など作つて居るが、さう云ふ人に限つて出來ぬ。詰り男子は一本立ちに働く事が出來るが、婦人が聊か不愍でもあり男子と

はてんて違ふのである。けれども獨身婦人と云つても、賞讃に値するのも居る。男子の叫聲よりも遙に熱烈であつて是迄婦人の手に依つて遂行された事業は數多くある。纎弱な婦人の唇頭より迸つた其の叫聲て偉大の事業に立障つた事は歴史は之を證明して居る。

禁酒會でも、廢娼運動でも男の力よりも女の力が偉らく感じる。斯う云ふ事は婦人が一つ働くと其の勢力が違うやうに見へる。日本の禁酒運動でも安藤夫人の叫が一種熾烈を極めて勢力あつたやうにも覗はれた。宗教界、教育會では何うてあるか跡見花溪女史とか津田塾の津田女史等は獨身て而も獨立て家庭を作つて今日聲名を謠はれて居る。是等は早く家庭を作れば到底今日の樣に盛大なる學塾を見られなかつたかと云ふと强ちさうでもなからう。然し下手に家庭に煩累があつたなれば、或は今日のやうに事業が期待し得られなかつたかも知れぬ。獨身男子は面白く樂しく生涯を過して居る事が往々見られる。

△オールドミスと嘲るは誤り＝
＝婦人の使命は家庭にあり△

又婦人にしても社會人の爲めに働いて社會奉仕の生活と趣味に滿足して行く事が出來る。世間では獨身て年老ひたる所謂オールド、ミスを笑ふやうだが、此のオールド、ミスの中でも前述の如く男子が出來得ぬ事を婦人の手に依て遂行されて居る事を思へばオールド、ミズとして笑ふ所でなく却へて敬虔を念を以て迎へなければならぬと思ふ。繪畫や、音樂にしても男子の企て及ふ所でない技術を有して居る者もあるから蔑視する所でなく尊敬しなければならぬのである。詰り世人は獨身婦人に對する同情敬愛の念を失ふてはならぬ。

今後社會の事業が複雜になつて來て、國民も擧つて力を伸さねばならぬ時代となつて來て居るから、女子も天職として女子たる天分を完ふするには何うしても家庭を作るやうにしたい。併し若しも萬一前述のやうな事で獨身て立たねばならぬと云ふならば、力あるものは力ない婦人を援け、疎外したり敬遠したりせず、互に相倚り相援けるやうにしなければならぬ。婦人の獨身と云ふのは餘り穩當てないと思はる。それても種々の事情あつて獨身となるのてあるから是又已むを得ぬのてある。思想は高邁て、希望も遠大て社會人類の爲めに力を盡すと云ふ事を好むなれば、御遠慮なく其の方針に盡した方も宜いと思ふ。要は其天分にある。妄りに獨身婦人を排斥するには當らない。（講演大意）

●正誤 （第九卷第三號紙上）、林歌子女史の「西比利亞に於ける我同胞の實狀」と題せる記事中、二十一頁二段四行「西比利亞一口の人口三百五、六十人は日本の人口一哩三百五十六人」の誤植に付き爰に訂正す。

●訂正 （前號紙上）、山脇法學博士の「女子の勞働と經濟的生活」と題したる記事中廿七頁九行目、賢明なる遣方以下に「と云ふて宜い。一方に於ては上中流社會の女子は國家社會の分子たる家庭より引締めて、正味ある生活を營むやうにするのが焦眉の急務てある。然らば家庭を引締むる方法とは何てあるかと云へば、即ち家庭の改良て衣食住を改善して」を脱したるにつき玆に訂正す。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

福澤翁の一夫一婦論（二）

一條忠衞

グリーンは其の名著 Prolegomena to Ethics に於て左の如く論じて居る。

一夫一婦が正當なる夫婦關係であつたことを、彼等は何故に知らなかつたのであるか。思ふに、人類の可能性の社會に於ける實際の實現が、未だ一切の女子は自己を規定し自己を尊敬する人格者として、正當なる且つ同等なる神聖を有することを理解するの階段に達しなかつたからである。社會は未だ人道をば如何なる人の人格に於ても何時も之を目的として遇すべく、決して方便として遇す可からざる主義が十分普遍的に領得せらるゝの狀態に達しなかつたのである。然るに今日吾人が了解する如き貞潔の責務に合理的根柢を與ふるものは、獨り此の主義の存するが爲めてある。如何樣に此の主義が陳述せらるゝにせよ、近代の基督敎國の社會が此の主義に從つて實行するに至らざるの遠きは言ふを要せぬけれ共、其の良心に於ては古代に認容されなかつた此の主義を認容するのである。一切の人に法律上人格的權利を賦與するが故に、他人の要求を容るゝの心意ある者は、女子を自己の快樂の奴隷として遇して、其の凌辱を顧みざる事の不正を看過することが出來ないのである。此の不正は今尙ほ習慣的に行はれて居るけれども、其は良心の非難の下に行はれつゝあるのである。然るにアリストテレース時代の希臘人には其の身邊に奴隷狀態にある女子が多く、又た斯かる狀態には異なる社會の理想を有すべき能力（哲學者の書籍にて推斷すれば）が無かつた爲めに、斯かる良心の非難は一向感じなかつたのである。斯かる感受性は唯だ現在社會の構造が變化して、人間の人格なるものに男女の差別無く、等しく權利の主題となるに至つて始めて生起するのである。素より此の變化に關しては既に本書の前段に指摘したやうに、吾人の道義的性質の基本を成すところの要求、卽ち個人が自身の善たると同時にまた他人の善たるべきところの善を要求することが、その本體を成したものである、けれども此の要求が先づ一切の人に對する權利を與ふる所の法律及び制度を成立せしめて、然る後に一般の良心が今日吾人が承認するが如き貞操の規則を女子の人格の神聖に基づいて之れを命令し得るのである。さうして此の事に關して吾人の理想が希臘哲學者の理想よりは一層嚴肅になつたのは全く社會の構成に於ける現實の變化に率由するやうに、尙ほ又一層進んで一般的に此の理想に順應するに至り得るは、全く社會の變化が更に一段の進歩を爲すに由るのである。既に基督敎國に於て建設され

たる法律上の消極的同等は、更に積極的狀態の同等及び女子が女子特有の世路を歩み得る一層實際なる可能性によつて補充される如く、吾人が承認する貞操の規則が一般に實行せらるゝに至るは唯だ女子が一層一般的に此の規則背犯に同意することを拒否するに由つてのみてある。(ch. 267.)

以上のグリーンの叙說によつて、吾々は福澤氏の一夫一婦論よりも正確なる知識を與へられ、其の人格的根柢の把持に於て承服するのみならず、彼の男女道德に冷淡てあつた、アリストテレースすらも尙ほ地下に於て傾聽しなければならぬ名論てある。けれどもグリーンの言ふが如く、一夫一婦なるものは吾人の人格の神聖に基き、善の要求てあり、良心の使命としての貞操てあるが、余は更に之れを追求して夫婦の愛卽ち人格的戀愛てあると爲したい。換言すれば一夫一婦なるものは、倫理學上より見れば、男女の自覺に基く兩本位的の神聖なる人格關係てあり、至善の要求てあり、良心の使命としての貞操關係てあるが、尙ほ其の根柢を洞觀すれば一男一女が吾人の人格に基く性的行爲に關して、理想化されたる性慾の實現を求むる合意に生ずる和合てあるとしたい。斯うすればグリーンの漠然とした概念的說明に對して、更に内容の基本を與へることが出來て、我が福澤氏の一夫一婦の缺陷を修補することが出來ると思ふ。さうすれば福澤氏の一夫一婦論は我が社會に於ける豫言者の箴言として、吾々が奉じて百世の掟とするに足るのてある。然るに氏の一夫一婦論には尙ほその背後に一個の大なる條件が附せられて居る。それは再婚にす關る氏の熱心なる主張てある。是に於て吾々は先づ氏の再婚論を傾聽した上て無ければ、實際は氏の一夫一婦論を是非するに由の無い者てある、氏は左の如く論じて居る。

婦人の再婚

浮世を輕く認めて人間萬事を一時の戯と看破し、其戯を本氣に勤めて怠らず、啻に怠らざるのみか眞實熱心の極に達しながら、扨萬一の時に臨んては本來唯是れ浮世の戯なりと悟り、熱心忽ち冷却して方向を一轉し、更らに第二の戯を戯る可し。之を人生大自在の安心法と稱す。依て竊に按ずるに、古人の敎に忠臣は二君に仕へず、貞女は二夫に見えずとて、婦人の節操を奬勵するは甚だ善し。一夫一婦は今の文明世界に於て既に天然の約束と認められ、此約束を遵奉して社會の秩序を成すことなれば、一婦にして二夫を見る可らざると同時に、一夫亦二婦を見る可らず、正しく天の命ずる所なれども生者必滅も亦天然にして老少不常夫婦偕老を遂げざるもの多し。此不幸に際し我國の習俗如何を見れば、男子は後妻を娶るに躊躇せずして再三妨げなきが如くなるに反し、寡婦の再婚する者は割合に多からず。或は漸く老境に入りたる婦人に子供も多しなど云ふ事情なれば、多少考ふる所もある可きなれども、三十前後未だ四十にも足らぬ年にてありながら、良人を喪へば乃ち目するに未亡人の名を以てし、恰も良人と共に死ぬ可き所を不思議に生き殘りたるものゝやうに看做して、親戚朋友の間に之を捨てゝ顧みる者なく、假令ひ或は家道生計等の都合に迫られて止むを得ず入夫又は再嫁することあるも、其實は之に滿足するに非ず、本人に於ても思か恥かしく思へば周圍の人も竊に悦ばざるの意味あるが如し。畢竟彼の古人の敎なる貞女二夫に見えずとの一句に束縛せられて然るものならん。誠に謂れなき次第にして、貞女二夫を見ること果して悖德ならば、貞男も亦二婦を見る可らず。彼れに嚴にして此れに寬なり、偏頗の甚だしきものと云ふ可し。故に忠臣二君に仕へず貞女二夫に見えずとは、一身にして同時に二國の君に奉公する勿れ一婦にして同時に二人の夫を親しむ勿れとの義に解釋して可なり。斯く解釋すれば毫も人事に妨げなくして至極尊き敎なるに、男尊女卑の習慣は此れを極端にまで擴張して女子の自由を奪却し、恰も之をして窒塞せしむるに至りしこそ殘酷なれ、吳々も感服せざる所なり。左れば以上の立言は稍々自由なるに似たれども、斯く云へばとて一切の女子は其結婚を輕く視て寡を守るの要用なきのみか、隨て結び隨て離れ自由自在に進退せよ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

と勸むるに非ず、結婚は生涯の一大事にして既に結びたる上は死に至るまで解く可らず、夫婦一身同體にして小心翼々他に顧みる所ある可らずと雖も、唯人身の約束に免かる可らざる死別の一段に至りては覺悟を改めて第二の境界に入り、神氣颯然として半點の曇りを見ずとの意を明にするのみ。即是れ大自在の安住法なりと知る可し（福翁百話、四十四）

偕老同穴は夫婦の約束なれども如何せん、老少不定は天の命ずる所にして、偕老果して偕老ならずして夫の早く世を去ることあり。斯る不幸に際して跡に遺る婦人の年齡が四十五十にも達して、加ふるに子供の數も多からんには、寡を守りて家に居る可きなれども僅に二三十以上まだ四十にも足らぬ身を以て寡居は甚た宜しからず。我輩の持論は其再縁を主張する者なれども日本社會の風潮甚だ冷淡にして學者間にも再縁論を論ずる者少なきのみか寡居を以て恰も婦人の美德と認め、貞婦二夫に見えずなど根據もなき愚說を喋々して却て再縁を妨ぐるの風なるこそ遺憾なれ。古人の云ふ二夫云々は有天の婦人が同時に第二の男子に接するの意味ならん。即ち今の有婦の男子が花柳に戯るゝが如き不品行を警しめたるものならんなれども、人間の死生は絶對の天命にして人力の及ぶ所に非ず。昨日の至親も今日は無なり。既に無に歸したる上は之を無として、生者の謀を爲す可し。死に事ふること生に事ふるが如しとは人の情なれども、人情は以て人事の實を左右す可からず。例へば死者を祭るに供物を捧ぐるは生者の情なれども、其情如何に濃なるも亡き人をして飮食せしむること叶はず。左れば生者が死者に對して情を盡すは云ふまでもなく。懷舊の恨は天長地久も啻ならず、此恨綿々絶ゆる期なしと雖も、冥土人間既に處を異にすれば、舊を懷ふの人情を以て今に處するの人情を妨ぐ可からず、一瞥心機を轉じて身外の萬物を忘れ、其舊を棄てゝ新惟れ謀るは人間大自在の法にして、我輩が飽くまでも再縁論を主張する由縁なり。殊に男女の再縁は世界中の普通なるに、獨り我日本國に於ては之を男子に自由にして女子に窮屈にす、自ら兩者對等の權力に影響なきを得ず、是れ亦我輩の等閑に看過せさる所のものなり。（新女大學）

右の論說に於て吾々は先づ『婦人の再婚』と云ふ表題を見るのである。これは抑も福澤氏に於ては何の意であるかを忖度するに、つまり氏の精神に依れば男子は再婚するの自由を有して居るから、この自由を均しく女子にも許せと云ふ心である。さうして氏は如何なる場合の再婚を指して居るかを見るに配偶者の死亡した場合の再婚である。即ち男子は妻が死亡した場合に再婚するの自由を有して居るから、此の自由の恩惠を女子にも頒ち與へよと云ふのである。氏の此の再婚の自由を稱して、『人生大自在の安心法』と名づけて居る。こゝて吾々は先づ福澤氏の男女道德に於ける根本中心なる一夫一婦論と此の再婚の大自在法との倫理的關係に就いて一脈の系統的理論を取らなければならぬが、一夫一婦をグリーンの如く又は余の如く、之れを人格的至善によつて解釋して良心の法則と爲し、更に之れを永久的なる人格的戀愛の關係として理會する時は、福澤氏の謂はゆる再婚の大自在法なるものは氏の謂はゆる自由愛情（フリーラブ）に終るなきかを怪む者である。氏の憎む處の自由愛情と氏の好む所の再婚自在法とは、畢竟するところ同一のものに歸するの弱點は無いか。若し二者の間に異同があるとするならば其は如何なる理由からであるか。福澤氏は之れに對して、『時』と『死』と『齡』との三つを理由として居る。即ち一夫一婦とは之れを時間の上から考へれば、一婦にして同時に二人の夫に親しむこと無く、一夫にして同時に二人の婦に親しむこと無き關係を意味するとして居る。さうして人間の死は絶對の天命であつて不可抗力のものであるから、若い男女はその配偶者の死亡せる場合には心機一轉して身外の萬物を忘れ其の舊を棄て新惟れ謀り。生者は生者の勤として再婚するのが人間大自在の法として敎へて居る。別言すれば福澤氏の一夫一婦論に於ては、夫婦關係は一男一女の同時的な存命中だけ

てあつて、其の配偶者の一方が死亡した場合には、其の生き殘つた一方が年齡に於て四十歳に足らずして子供の數の少ない時は、乃ち其の死せる配偶者を打ち忘れ神氣颯然として半點の曇も見ず、直に新しい配偶者を求めることが人間の大自在法てあると云ふのてある。彼の『貞女兩夫に見えず』の一句は根據も無い愚説て、人間の自由意志を束縛するものであり、且つ之れを男子に許して女子に禁ずるは謂はれ無きことてあるから、共に之れを公に許した方が可いと云ふのてある。

そこて議論の勢として此處に非常なる問題を生ずるのである。『同時』と『配偶者の死』と『若い年齡とは』何故に一夫一婦又は再婚を規定するの要件であるか、若し一夫一婦の規定を配偶者の生存中に限り、同時の性的生活と解し得るならば之れを配偶者の死後にも適用して自己の一生を貫いて同時の性的生活と解し得ざるの理由があるか。換言すれば、配偶者に死なれた若い年齡者が、尚ほ死者に對して戀愛が連綿として絶えず、良心の至善に於て死者の面影に生き、死者の遺業に生き、其の人格に於て貞操の堅固なるものがあり、靈肉を裏切るに忍びない道德的情操を有する場合には、生涯を通じて一夫一婦の事實を生ずるので、再婚を以て一夫多妻と解し、再婚の自在法を目することと彼の極端なる自由愛情論と何等擇ぶ所が無いのは、免れ難い事情では無いか。然るに此の場合に我が良心に住む古き愛人を棄て、その靈肉を裏切つて新しい者に捧げろと云ふならば是れは慘酷にして妄論の甚だしい者にならぬか、殊に此の場合に死者を忘れ、神氣颯然として半點の曇を見ずと云ふやうな秋水枯木の精神は、實際の人情に於て果して出來得ることてあるか何うか、又た此の場合に於て福澤氏の言ふ如く、人間萬事を一時の戯と看做して亡者を棄てゝ浮世の戯と悟つて再婚する如き不眞面目なる行爲を萬物の靈長たる人間は容易すく爲し得るか何うか。彼の鴛鴦を見れば、其の一方が病死するか又は捕はれた場合には、その一方は之れを悲んでそのまま斷食して死する場合がある。況して人間に於てその配偶者か死んだからと云つて之れを奇貨として忽ちに新婦を迎へ、而かも公衆列座の披露席上に於て喜々として笑ひ、料理をたらふく食ひ酒を飲んて壽き躍り、神氣颯然として人生を戯れたる亂暴を極めるは、是れ死屍を鞭つ行爲には當らぬか。

さうして其の若い年齡とは抑も何歳を以て限界とするの意てあるか。假に四十歳としたならば、その四十歳と四十歳一箇月との年齡に於て何故にこの一箇月の差が前者に再婚を許し後者に之れを禁ずるの理由となるが、體質の强壯なる四十歳一箇月の者はその虚弱なる四十歳の者よりも若いことは極めて明瞭てある。然らば若い年齡なる概念は之れを再婚の對象として數字に現はし得ないものては無いか。さうして子供の數とは果して幾人を意味するのてあるか、甚だ漠然として居る。假に一人のことてあると爲したならば子供一人を有つ者と二人を有つ者との二者に於て、その一人の差は何故に前者に再婚を許して後者に之れを禁ずるの理由となるか、更に此の數字の標準を高めて二人としたならば、何故に小供二人を有つ者は再婚を許されて、三人を有つ者は之れを禁ぜらるゝか。（以下次號）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

社會改造の根本義

救世軍大佐　山室軍平

（上）米國の酒造業者

今は社會改造の世の中である。以前は啻「社會改良」といふて居つたのを、今は「社會改造」とはねば承知の出來ぬ時代となつた。其の社會改造の中の一つの出來事として、北米合衆國にては、明年一月十六日から全く禁酒を勵行する筈にて、目下其の國幾萬の居酒屋や、酒造家は、商賣換の準備に忘殺せられて居る所である。近頃彼地から來た新聞に「酒造家の改造」といふ見出しにて、次の如き記事が出て居るのを見た。

（一）オレゴン州ポートランド市の太平洋沿岸釀造所にては、前きに百二十三人の職工を使用してビールを造つて居つたが、今は大きな靴工場となり、二千五百人の職工を使用して盛んにやつて居る。
（二）同じ市のラニヤル酒造會社は、今はなめし皮の工場と變り、以前百五十六人の職工を使用して居つたが、今では千五百人を使用して居る。
（三）オレゴン州のサレム釀造所は其の後イチゴの汁を製造する工場となつた。
（四）西ヴアジニア州のハンチングトン釀造所は肉類を扱ふ工場となつた。
（五）同州ウニーダの釀造所は錬乳所となり。
（六）同州フエイアモント釀造所は製氷及び錬乳所。
（七）ミチガン州ランジング釀造所は自動車工場。
（八）アイオワ市の釀造所はクリーム製造所。
（九）デンヴアのクールス釀造所は磁器の工場。
（一〇）ワシントン州北ヤマ釀造所は果物會社。
（一一）ワシントン市のスメー釀造所は塗料會社となり
—それぞれの新奇の事業を經營して居る。

萬事此筆法にて、これ迄無用有害の事に用ゐられた資本をも、勞働をも、殘らず活かして有益に用ゐらるゝことゝなつたならば、此世の中は大きに改善せらるゝに相違ない。

（下）人間改造之事業

併し乍ら幾ら外部の境遇が改まつたからといふて、若し内部の人間が改まらないならば、それは所謂「沐猴にして冠す る」ものである。即ち猿が烏帽子を冠つた樣なものにて、一寸見た處は立派だが直ぐに失態を演り出すこと疑がない。それ故私共は酒のない社會を造るのも結構だが、それよりも酒の要らない人間を造るのが、更に大事なことと知らねばならぬ。又社會を罪惡より救ふ前に、先づ人間を罪惡より救ふ必要を知らねばならぬ。或時一人の酒飲の男が救世軍に來て基督の救け受け、酒嫌になつて堅氣に働き、相當の活計を立てる樣になつた。そこへ久振りに國許の母親が訪ねて來て、前きには酒故に三度迄も家をつぶした悴が、今は幸福な禁酒の家庭を造り。然もお母さんへの饗應のつもりて、以前は酒を容れた一升德利を、今は花いけの代用として、美事な活花をして飾つて居るのを見て、嬉し涙に咽びつゝ「まう之を見た上は、いつ死んでも憾みはない」と言ふたことがある。私共は日本にも酒造家が自動車工場になつたり、靴工場になつたりするの日を來らせねばならぬ。けれ共その前に先づ、一升德利を花いけに代用する家庭を多く造りたい。畢竟人が基督の救を受けて、其の心を改造するのは眞に社會を改造するの第一步である。

社會改造の根本義

慶應大學文科學長　川合貞一

□露國過激派の平等思想

今回の歐洲大戰は言ふ迄もなく歷史上未曾有のものだけに今や種々の方面に多大なる影響を起して居る、即ち外面的に言へば歐羅巴の改造が出來上りつゝあるし、之を內面的に考へれば社會の改造行はれんとし、現に或方面では既に其實際の運動に顯れて入ると云ふても宜い、此社會改造運動の殊に極端なのは露國のボルシエヴヰズム即ち俗に云ふ過激思想である、此思想は人も知る如く獨逸學者マルクスの社會主義の系統を引いたもので、其根本は所謂唯物史觀である、即ち「現社會に於て勢力を有し其支配者たるものは有產階級であるから、政治も又道德宗教も此階級の利益を保護するやうに出來て居る、然るに一方に無產階級があつて常に有產階級の壓迫を受けて居るが、此二階級の利害の關係相衝突し到底調和することが出來ぬ」。斯う云ふ見地から從來の有產階級の代りに勞農即ちソヴヰエットと云ふ無產階級を以て社會を支配せしめ、ソヴヰエットの原理で世の中に行かうと云ふのである。

併しながら其場合、無產階級が有產階級の財產を沒收して支配權を行ふのであるから、有產階級も無資產となつて居り理論上無產階級と同じものになつて居る、又過激派は無產階級の利益は經濟制度に依つて顯され、經濟團體が無產階級の利益を顯すものと考へて居るから政治を遣るに委員を出して委員政治を遣り、此委員政治を以て唯一の民主的方法と考へて居る、而して從來の如く代議士を選擧して政治を爲るのは資本主義の政治組織であるから取るべきものがないと斯ふ考へ居るものと見て差支へない、過激派は詰り思想で以て新社會を造つて行かう、或程度まで勞働者を以て社會を造つて行かうと云ふのである、即ち過激派の社會改造の原則は主として平等と云ふ觀念に在る、凡てのものを平等にすると云ふことを原則として居るのである、而して此の平等の原理で行くのが即ち民主的社會である。

此の思想は從來廣く世に行はれたもので現に米國の思想家も大抵是れてある、即ちデモクラシーは平等觀念の上に立つと云ふ考へは遠く其源を米國獨立の宣言に發したもので、詰まり十八世紀の自由平等の思想である、佛國革命を起したのも此思想で所謂「人の上に人を造らず」と云ふ天賦人權說の系統を引くものである、英人も又此平等觀念を取つて居る、併しアングロ、サクソンの平等觀念と過激派の平等觀念とは必ずしも一でたい、過激派の平等觀念は何等の差別を容さぬ平等で、言はゞ機械的平等、凡てを一律に同じものにして了ふ、即ち絕對に差別を容さぬと云ふのであるが、アングロサクソンの自由平等の考へは決して一律に同じものにすると云ふ機械的平等觀でなく、平等の內に差別を容し差別の內に平等を容すのであつて、是れ彼等の國民性となつて居る所のものである、英國のデモクラシーに關する考へも勿論何も彼も同じものに見るのではないが、大體では

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

兎角機械的平等觀に傾き易い、即ち過激派とアングロサクソンとは大に違ふ、共に平等の觀念に從つて社會の改造をして行かうと云ふのでも其行き方が違つて居る、日本でも平等の原理で社會を改造しやうと云ふ說が段々出て來たが、要するに歐洲に行はるゝ思想を直ぐ行はうと云ふ所謂模擬したものと見てよい。

□機械的平等觀の社會は危險

併しながら社會改造の原理として平等觀念を持つて來るのは餘程考へ物である、何となれば平等の觀念は誤解に導き易く、殊に我日本人は大體機械的平等觀念に陷り易い傾向がある、佛國人もさうである、故に平等觀念を以て社會改造の原理として唱道するのは甚だ危險であつて、一步を過れば直ちに過激派類似のものとなる虞がないではない、余は社會改造の原理たり基礎たるものとしては、何うしても正義と公正の觀念を取らねばならぬと思ふ、尤も正義も機械的に考ふれば平等觀念と同じやうな不都合なものになるが、要するに過激派の如くに社會の階級と階級が爭鬪して其利害關係が調和せぬとする考へとは根帶から違つて居るのである、社會は共存の主義に依つて立ち、共同生活が即ち社會を造るもので、其一員たるもの各責任あり、互に其共同責務を土臺とし、其上に正義公正の觀念が何處までも社會改造の原理とならなくてはいかぬ、即ち碎いて言へば人々をして各其の處を得しむる如き社會を造らなくてはならぬ、共同責務の社會を造らなくてはいかぬのである、正義の上から言へば政治上には皆國民が國家を負ふて立ち以上は之に與かる權利、即ち選擧權を持たねばならぬ、此意味より普通選擧は今直に之を行

ものは素より問題であるが其終局の歸結であらねばならぬ。

□社會改造の基礎は公正の思想

又今日勞働問題が騷々敷なつて來る模樣であるが、資本家も勞働者も共存の社會、共同責務の社會に居る以上は其利害衝突するが如きものではなく、寧ろ一致すべき筈のものである、社會の性質から言へば矢張り兩者は調和すべきものである、正義と公正を基礎觀念とする社會は資本家は資本家、勞働者は勞働者と互に社會に於ける地位に想應し共同して事に從はねばならぬものである。

然るに實際を見るに往々資本家は利益を壟斷し勞働者は生活に苦しむる狀態がある、斯くの如きは正義公正に合致するものでない、故に正義公正の觀念の上から見ると勞働者の人格を認め、且つ生活上の保障を與へ、社會に有用なる働きを爲る以上は如何なる場合に於いも生活に困らぬと云ふ所謂最低生存の保障、サブシステンス、ミニマムを保障することも必要である、又何人にも均等の機會を與へねばならぬ、教育を受け得る才能を有するものには、何人にても何んな高等教育でも受け得るやうにせねばならぬ、何人でも力ある者は其力だけの働きを社會に顯し之に相應した社會的地位を占めて行かなければいかぬ。

其他種々斯の如く正義公正の觀念を應用して考ふれば、凡ての社會上の關係に應用し得るが兎に角全然斯る觀念の上に立つ社會に改造することが、我等の努力せなければならぬ大責務であると言つて宜しい、正義公正の觀念に基く社會は言ふ迄もなく過激派の如くに唯一律に凡てのものを等しくしやうと云ふ思想は、決して行はれぬ社會である。正義公正の社會は有機的平等の行はるゝ社會と言ひ得る、現在の社會を斯くの如き社會に改造すると云ふことが我々の目標である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

娼妓病院手記（四）

前某驅黴院看護婦　田口和子

六月十七日（水曜日）

何といふ惨めなそして滑稽なざまでありませう。今朝のあの隨分酷い雨にも係はらず、此の廓から吐き出されるやうに我が家を指して歸つて行く遊冶郎の多くが、傘も何もさゝないでビシヤ〳〵と歩く其有樣ほんとうに考へれば考へる程、賃座敷業ぐらゐ罪の深い薄情な商賣はないと思ふのです。何うして雨傘の一本すらも貸與へる事が出來ないのでせうか。あれでも昨夜登樓して精一ぱいの散財をした時には、下へも置かない待遇をしたのであつたに違いありません。それが僅か數時間を經ない今朝となれば、泥濘な道を草履や下駄引摺りながら羽織を頭から被つて歸らなければならないといふ極端な變り樣を見せられる時、さても因果な人達であると悲まざるを得ませんでした。

此の大正の御代に何うして係廓營業者があるんでせう。何時ぞや西洋の或る若い水兵が動物園と間違へて周章て引返したといふ事を聞きましたが、それを聞いた私は到頭泣いて了つたんです。

十八日（木曜日）

T樓の抱へ妓のMさんは隨分長い間の入院でありましたが、先達退院してからだん〳〵身體がよくなつて行きつゝあるのだと思つてゐましたのに、今日ある人の話に依ると病氣は却つて漸次惡くなる許りだといふ事でした。彼の人は入院中いつも頭が痛くて我慢が出來ないと云つて居ましたが、退院する三四日前にいくらか快くなつたからと申したので、それでは退院したいのかれと聞きますと、是非さうして貰ひたいといふものですから其の手續をしたのでしたが、それでは其處ことも矢張り樓主からせき立てられるので止むなく、惡いのを無理に我慢して退院したのであつたといふ事が、今になつて判りました。其の人の話では、最う箸を持つ事さへも自由にならぬ程病氣が重くなつたのださうです、それにも拘はらず樓主は『前借が嵩つてゐるから癒らなんだ』の『病氣ばかりしてゐる癖によく飯を食ふ女だ』のと、他で聞いてゐてさへ戰慄とするやうな取扱ひをしてゐるとやら而も契約の期年は二三年前に濟んでゐるのださうですが、病氣勝なものですから入院料や其の他の費用に利に利が附いて、それで出る事か出來ないといふ話なんですといふから、私は『だつて其の入院料だからと云つて藥代や入院料は一文も取る譯はないんですし、費用だつて高が一日廿錢（卅錢の時でありますが其の内十錢は縣廳から補助するのです）位なんですもの、さう大した借金にもなる筈はないと思ひますが』と話してやると『病院の規則ではさうなつてゐるのかも知れませんが、兎に角私などが一ヶ月の入院すると何うしたつて其の費用が少ない時で七圓位、それに利が附くのですから、休むだ日數と入院費とを返さなければならないのですから、却々容易な事ではないのですよ。それで若し年が明けたとしても六十日間位は何うしても働かなければならないといふ廓の規則だからと云つて、誰も彼も御禮奉公をさせられるのですものとても遣切れたもてはありません泪ぐみました。

十九日（金曜日）

眞晝間てしたが、何處の男か知らないけれども、大きな德利を下げて道々それを呑みながら、ゲープと道行く人の誰彼の差別なしに突當り、喧嘩を賣つて歩くやうな面持ちで廓内を狂路付いてゐるのです。それても本性はあると見えまして、格子に摑つては店先へを覗込みながら『イョー山猫君……狼君……景氣は何うだい、一つ一杯遣らうじやないかと

いふから思へば又た『此の動物園は晝は寂しくて駄目だな——ナル程それも其の筈だ。皆な寢て御座る譯なんだから仕方がない。晩になつたらウンと爪を磨がにやならんからなア』と叫んでゐるのです、場所が場所であればこそ、あんな狂氣染みた振舞をしても誰一人不思議がる者もないのですけれども、若しかこれが極めて眞面目な處でもあつたら、人々は必ず彼の狂人を苦々しく面をそむけるに違ひないんです。遊廓といふ處は何うしてそれが不思議でない處ですのか。

　午後でありました。娼妓達が息急きこむで私の處へ飛び込むやうに來たんです。そして『今ね、花月(料理店)から一人の男が交番へ引立てられて行つてよ。何か癪に障つたとかて、硝子窓を破るやら道具類を投付けるやらして、額からタラ〳〵と血を流して、ホントに其の氣味の惡い事つたら。』と眉をひそめて云ふんです。私はハツト考へたんです。若しか午前中に見た彼の狂態を演じた若い男ではなかつたかと。暫くその話を聞いて見ると矢張り然うなのでした。『髯を生やした立派な人』といふのは、或る鐵道院の官吏でありまして、平常酒を呑まない時の温順な事と云つたら、まるで女のやうな優しい人なんださうですが、一度酒を呑むとヽ全く別人のやうになつて暴ふのださうです。

　私は今更ながら痛切に感じました。——酒の害——

廿日(土曜日)

　思へば思ふ程この世の中といふものは、何故こんなに調つた組織に出來上つてゐるのでせう。いつも私は此の考へに私の幼稚な頭腦を鋭く刺戟しなければ歇まないのです。今日も檢査場の一隅に陣取つて小奴さんと愛子さんと最う一人の小菊さんの三人が、興じながら話合つてゐるのを聞きますと『私はもう自暴自棄だから、何年引張られて勤めさせられやうが一向頓着はしないわ。其の代り商賣する間は什麽男でも構はないから、片ッ端から欺せるだけウント欺してやらうと思ふの。そして若しも歸る事が出來たなら、親類であらうがお袋であらうが、又た妹でも何でも頤で使つて、私は長火鉢の向ふに居て長煙管を斯ういふ風に持つて『おい、お前等何をグズ〳〵してゐるんだ、早くサッサと用を片付けないか』と澄し込むわ。全く其麽事でもしなくては諦めがつきませんよ。私を斯麽商賣に突落して置いて、それで自分等は私を賣つた金で樂をしやうとするんだもの、考へれば考へる程いまいま〳〵しくてならないのよ。』と、小奴さんが盛んに毒付いてゐるのでした。彼の人も娼妓になつてから最う二年位になりませうが、未だ十九位な若い身であんな荒むだ考に變つて了つたのを見ると、恐しくてならないんです。すると愛子さんが然うよ。何うせ私達の血は親方から搾られてゐるのですもの、遊びに來る男の血も搾らなければ損だわよ。何時も親方が然う云ふじやないか『他人の物は吾が物、吾が物は矢張り吾が物だつてー』と手を叩いて笑ふ、折しも其處へ中島といふ取締が通合はして『然うだ〳〵浮世は三分五厘と相場が極つてゐるじやないか。欺す狐が欺されちやいかんぜと云捨て行つて了ふ。後を見送つた三人は長い舌を出すやら、拳骨で後から突いたり打つたりする眞似をして『フンー、人を狐にしてゐらアー—くそ面白くもない。私達は情なくて仕樣がないから自暴自棄になつた。夫を良い氣になりあがつて、狐が欺されちやいけないなんて、よくも其樣な口がきけたものだ。誰がこんなにしたんだいと、嗟！いやだと云つて、胸が惡くなつたといふ面持ちで唾を吐いたのです。

廿一日(日曜日)

　先達齋藤先生を通して御願した手紙がK樓主に屆かないのかしら、何とも音沙汰がないので何うした事かと思案してゐますと、今日やうやく其の樓主が私の處へ來た『警察からの命令だから廢業させる事はさせるが、第一こんな事は私の信用に拘はる事なんだから非常に困る。何しろ此の商賣は直接警察を取引きせにやならぬもので、私のやうにこれまで一度も呼出されて小言を食つた事がないのだから、此度のこと杯も全く私に取つては迷惑千萬といふものなんだ。然しまア出來た事は據ろないにしても、彼れには（病床にある彼女に今日中だけ斷らずゐるやうに話してある。何も商賣をさせるのじやないが、然うしないと他の娼妓に對して見せしめが付かんからね。それは『女共に病氣さへすれば廢業が出來るといふ風に考へられると、我も俺もと廢業したがる事になるから』といふ話であります。私は種々それに就て話しを仕ましたので、遂に樓主は余儀なく廢業させる事に往生したのですが、何か腹癒せしなければ物足らないやうな樓主は『一體誰がそんな事をお前さんに話したのですエ』と畳掛けて來るんです。私は『そんな事を聞かれました處で多くの人達の中ですもの誰が話してくれたのか、私には覺えてゐる事は出來なかつたのですと』答へたのです。何も其の男は『店の信用に關する』といふ事を何個々々も繰返して歸つて行つたのよ。

　其の後で私は考へました。彼の樓主は自樓の事に暗いから、それて信用だの何のと云つてゐますが、元來其のお妾さんが一切の事を遣つてゐるので、抱へ娼妓に對してそれは〳〵隨分辛い取扱ひをするといふ評判を知らずにゐるらしいのです。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

口信濃川のトランク事件が、一度び都下の各新聞紙に依つて報ぜらるゝや、社會人心はそれが爲め悚然として殆ど失ひ得めあへぬ戰慄を覺えたのである。眞實何人と雖も彼れ山田某の如き地位と名譽とを有する高官が、無智某者と雖も敢へてしない斯る大慘劇を敢行するといふやうな事は、如何に考へても有り得べき筈がないものと想像してゐたからであつた。等閑視的當局者すら彼の地位に信頼し、且つは彼の名譽に敬意を拂ふて容易に彼が犯行を肯定し得なかつたといふ事から考へても、世人が近來の一大椿事として驚異の眼を睜るのも無理ならぬ譯である。吾人も固より世人と其の感を同じふするけれども、併し世人の多くが其の話題の始頭終尾に『實に大膽極まる惡漢である』といふやうな極端な惡罵と冷評とのみに依つて、彼の全部を批判し盡さんとする者ではない。

口或る種彼の罪科其のものに對しては寸毫の可赦す可き點がないけれども、翻つて彼が犯行の動機に立入つて觀察して見えんか、其處には必ずや或る余儀ない原由が潜在して居た筈であらう。其の余儀ない原由とは何か。吾人は深く思ひを茲に到さなければならないのである。彼れ山田某が檢事局に拘引されて巳が罪科を逐一自白したといふ事が報ぜられた時、彼が妻の嚴父某なる者は早速離婚の手續を履行して我子を引取つて畢つたといふ。そして往訪の記者に語つていふやう『唯だ惡者に嫁に遣つて取返しの付かぬ事をして了つた』と慨嘆したといふ事である――世人は如何なる態度を以て此の一語を解釋したか。吾人の想像する處では、少しく對岸の火災視するやうな冷淡な態度で、それを過眼視し得なかつたに相違ないと思はれるのである。

口我國の現行法から見れば、同棲する夫婦の一方が假令家庭の爲に或る犯罪を爲したからとて、それが爲に他の一方が其の罪の幾分かを負はねばならぬといふやうな事はないのであるが、是を道徳上から論ふれば、當然斯る場合に於ては其の罪の幾分かを負はねばならない責任がある可き筈ではなからう。況して山田某の如き犯罪構成の動機に就て思ひ廻せば、尚ほ一層痛切な感があるのである。然るに彼が妻の嚴父某の態度は何うであらう『唯だ惡者に嫁に遣つて取返しの付かぬ事をして畢つた』と嘆いてゐるといふのは實に冒瀆同斷であると謂はねばならない。此の親にして此の子あり。實に恐ろしき事ではなからうか。聞くが如くんば彼女は大の虚榮家であつたさうである。山田が己れを愛するに增して際限ない虚榮を趁ふて飽く事を知らぬものゝ如くであつたとか。或る時彼が同僚に向つて『現在の自分は手に負ひない妻の虚榮に對して、最早何うする事も出來ない破目に陥つて畢つた』と長息を洩したさうである。

口妻の虚榮から遂に夫をして恐る可き犯罪をも敢行せしむるに至らしめた實例は、最近に起つた事件のみを以てしても十指を屈して猶ほ餘りあるのである。然るに世人の多くは只だ本人を責むるのみであつて、其の裏面に潜在する導火線に就ては毫も顧みる處がないのは太甚遺憾な事であると思ふ。けれども或者は斯ういふかも知れない。夫として妻をも御し得ないといふやうな其様な愚鈍な男であれば、假令妻の爲めの犯罪にしてもそれは當然止むを得ないと。併しそれは愛の何たるものであるかを解する事の出來ない者の想像であらうと思ふ。斯る人達には是非とも愛の爲めに何物をも犠牲にして省みなかつた多くの男女があつたといふ事を考へて貰えたい。

口吾人は今後の社會に、我子が犯罪の導火線となつて遂に惡事を働かしめ、加も恬して恥ぢざるやうな責任觀念の絶無な親の存在を否定したい。吾人は啻に前述の問題許りでなく、社會凡百の問題の解決を茲に其の根底を置く者であるが故に、痛切に斯く感ずる次第である。吾人は此の意味に於て是非共此の種の道德が一日も速に樹立されん事を切望して歇まないのである。

口近來物質主義の益々蔓延するに連れ、何れの階級の人達でも此の拜金宗に捉はれて他を省みる遑がないやうである、お互の間がうら若い女學生の胸にも斯々と浸み寄せたものか、此の惡風潮の渦中に投ぜられて、拜金の爲めなら如何なる問題も打捨てるに躊躇しないやうな有様である。然るに此の拜金崇拜の極端な風潮の反動として、近來漸く或る女學生間の一部に熱烈なる社會主義が發見し初めたといふ事である。中には現代の社會制度に對する不滿や嫉妬や、呪咀杯の柄言を吐いた者も含まれてゐないではないが、極端主義に立たんとする傾向に對してはしに實賛せねばならぬ事であらうと思ふ。

口當局の風紀に就ては今初めて兎や角批難さるゝのではないが、最近新堀下町風の鄙風實が猶其の手に悉く刷新されて、却つて世評に對して反比例的に惡風が吹き荒んで居るといふ事である。醜陋極まりなきものと人々が想像する彼の淺草界隈が、本郷神田の或る一部より遂に秩序が維つて來たといふやうに、今や風紀は墮落に於ても階級に於ても共に反對の方向に趨りつゝあるのである。(金林生)

大正八年七月九日印刷　（毎月一回十日發行）
大正八年七月十日發行　一部定價金十錢

編輯兼發行人　神田區今川小路二丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生
印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區[illegible]町十番地　廓清會發行所
電話本局四〇五一番
振替東京二七〇七二番

◎廣告主へ御用の際は必ず雑誌「廓清」によるゝ旨御申添を乞ふ◎

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

——→Dr. K. TAKATA←——

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜の他

院長　診察、月、木、金午前及木午後六時

林、糸間両副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話　一六二番
番町　一五一六番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋両副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎日午後　但祭日及日曜の他

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可）（大正八年七月十日印刷納本）（毎月一回十日發行）

大賣捌所　東京堂、東海堂、上田屋、警醒社、北隆館、眞明堂、

定價壹冊金拾錢

EAST ASIAN LIBRARY